

2025 年度

通信教育実施計画

学校法人松商学園
松商学園高等学校 通信制課程



もくじ

教育目標・日課表	2
行事予定表	4
教育課程表	10
標準スクーリング時間割	11
集中スクーリング時間割	17
シラバス	23
特別活動	103

スクールミッション

地域に誇れる持続可能な学校を目指して、常に考え続けて行動し、自分の能力と可能性を信じて品性を磨き保ち続けていく自主独立の精神を土台に、普遍的教育と新しい時代の資質・能力を養う教育を行い、予測困難な時代において自らの幸せを追求でき、社会に貢献できる人材を育成する。

育成を目指す資質・能力に関する方針(グラデュエーション・ポリシー)

常に考えて行動し、自分の可能性を信じて品性を磨き保ち続ける人物を養成する本校の教育目標に基づいた教育を行う。多面的で複雑化した社会において自立できる力を具えた人物を育成するために、課題を抽出し探究する力、課題に他者と協働して向かう力、主体的に探究する力を育てる。

- ①課題発見、解決の基礎となる知識・技能を身につけている。
 - ・基本的な知識・技能の修得
 - ・自ら学ぶ姿勢
- ②学びを活用するための思考力を持ち、他者を尊重した上で自身の考えを伝える能力を身につけている。
 - ・多様性を理解した上での自己表現
 - ・受容・共感
- ③自身のキャリア観を描き、主体的に行動する能力を身につけ、社会に貢献する意欲を有している。
 - ・自己肯定感
 - ・継続できる力
 - ・自己管理能力

教育課程編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)

心身の成長が著しい高等学校段階では、義務教育の基礎の上で確実に基本的な知識・技能を修得することが大切である。さらに、長い人生を通じ、社会を支えつつ支えられる存在として自立できる生き方の基盤を築く必要がある。そのために、本校では自らの在り方生き方を考え、将来の進路を選択する能力や態度の育成を大切にする。育成を目指す資質・能力に関する方針に掲げる能力を身につけるために、具体的に次の2点に基づいて教育課程を編成・実施する。

- ①教育内容・編成
 - ・自ら学びたいと希望する生徒が「いつでも、どこでも、だれでも」学習を継続できる機会

を設ける。

- ・常に先の時代を見据え、必要となる基礎的知識・技能を獲得するための科目を編成する。
- ・他者との協働的学びを通じて思考・判断した結果を表現する機会を設ける。
- ・各科目は、学期ごとに学習できるように定める（一部科目を除く）。
- ・「キャリア講座」を設定し、社会において自立した個人として生活を構築できる力を養う。
- ・同一法人の松本大学・松本大学松商短期大学部での学習に繋がる教育課程を編成する。

②教育方法・実施

- ・知識・技能の定着を高めるために、ICTを用いた双方向型の授業を展開し、習得した知識・技能は定期的に生徒が振り返りを行う。
- ・面接指導ではグループワークやプレゼンテーションの機会を提供し、知識・技能を活用した探究を促す。
- ・特別活動では各授業で学んだ理論を統合して、実践的に社会問題や自身のキャリアとして活用・体験する機会を提供する。

生徒募集方針(アドミッション・ポリシー)

自立を志す気持ちと、学びへの意欲、探究心をもち、継続して学習に取り組む生徒を歓迎する。具体的には次の項目を満たす人を求める。

- ①本校の学習方法を十分に理解し、その学習方法により継続的に学びたいと考えている。
- ②高等教育機関への進学や、就職を目指したいと望んでいる。
- ③スポーツ、文化などの活動を行いながら、学習との両立を目指したいと考えている。
- ④高等学校での学習を継続することが可能な学力を有している。
- ⑤通信教育課程の学習の基礎となる知識・技能を身につけている。
- ⑥知識や技能を活用して諸課題について考察し、自分の考えを表現し、伝えようとすることができる。
- ⑦社会に関心があり、社会規範を遵守しながら他者とかかわり学び続けようとする意欲を有している。

日課表

1 時限	9:10～10:00
2 時限	10:10～11:00
3 時限	11:10～12:00
SHR/昼休み	12:00～12:50
4 時限	12:50～13:40
5 時限	13:50～14:40
6 時限	14:50～15:40
7 時限	15:50～16:40

令和7(2025)年度 年間行事予定表

松商学園高等学校通信制課程

4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
1 火		1 木		1 日	× 19日は新村キャンパス 自習使用不可	1 火		1 金	○ 前期集中スクーリング④	1 月	
2 水		2 金		2 月		2 水		2 土	× 1日 3年前期定試	2 火	● 前期定期試験再試験
3 木		3 土	×	3 火		3 木	○ 前期標準スクーリング⑤	3 日	×	3 水	● 前期定期試験再試験
4 金	◎ 前期入学式	4 日	×	4 水		4 金		4 月		4 木	
5 土	×	5 月	×	5 木	○ 前期標準スクーリング③ ■ レポート提出日③	5 土	×	5 火	○ 前期特別スクーリング 保護者懇談	5 金	
6 日	×	6 火	×	6 金		6 日	×	6 水	○ 前期特別スクーリング 保護者懇談	6 土	×
7 月		7 水		7 土	×	7 月		7 木	○ 前期特別スクーリング 保護者懇談	7 日	×
8 火	◎ 履修 オリエンテーション	8 木	○ 前期標準スクーリング① ■ レポート提出日①	8 日	×	8 火		8 金	○ 前期特別スクーリング 3年前期定試再試験	8 月	
9 水		9 金		9 月		9 水		9 土	×	9 火	
10 木	前期・通年履修登録 期限	10 土	×	10 火		10 木	◎ 特別活動候補日	10 日	×	10 水	前期成績・ 単位認定会議
11 金		11 日	×	11 水		11 金		11 月	× 山の日	11 木	
12 土	×	12 月		12 木	◎ 特別活動候補日	12 土	×	12 火	×	12 金	
13 日	×	13 火		13 金		13 日	×	13 水	×	13 土	×
14 月		14 水		14 土	× 第1回学校説明会 (オンライン)	14 月		14 木	×	14 日	×
15 火		15 木	◎ 特別活動候補日	15 日	×	15 火		15 金	×	15 月	× 敬老の日
16 水		16 金		16 月		16 水		16 土	×	16 火	◎ 履修 オリエンテーション
17 木		17 土	×	17 火		17 木	○ 前期標準スクーリング⑥ ■ レポート提出日⑥	17 日	×	17 水	
18 金	開校記念日 ◎ 開校記念式典	18 日	×	18 水		18 金		18 月	3年前期成績・単位 認定会議	18 木	◎ 前期卒業式 後期履修登録期限
19 土	×	19 月		19 木	○ 前期標準スクーリング④ ■ レポート提出日④	19 土	◎ 本校学習会	19 火	● 前期定期試験	19 金	
20 日	×	20 火		20 金		20 日	× 19日は新村キャンパス 自習使用不可	20 水	● 前期定期試験	20 土	×
21 月	◎ ガイダンス期間 教科書・PC確認	21 水		21 土	◎ 松本を知る城下町FW	21 月	×	21 木	● 前期定期試験	21 日	×
22 火	◎ ガイダンス期間 教科書・PC確認	22 木	○ 前期標準スクーリング② ■ レポート提出日②	22 日	×	22 火		22 金		22 月	
23 水	◎ ガイダンス期間 教科書・PC確認	23 金		23 月		23 水		23 土	×	23 火	× 秋分の日
24 木	◎ ガイダンス期間 教科書・PC確認	24 土	◎ 交流バスハイク(要検討)	24 火		24 木	■ 前期レポート・視聴報告書締切	24 日	× 第3回学校説明会	24 水	
25 金	◎ ガイダンス期間 教科書・PC確認	25 日	×	25 水		25 金		25 月		25 木	
26 土	×	26 月		26 木	◎ 特別活動候補日	26 土	× 第2回学校説明会	26 火		26 金	×
27 日	×	27 火		27 金		27 日	×	27 水		27 土	× 第4回学校説明会(オンライン)
28 月		28 水		28 土	◎ 本校学習会	28 月		28 木		28 日	×
29 火	× 昭和の日	29 木	◎ 特別活動候補日	29 日	× 28日は新村キャンパス 自習使用不可	29 火	○ 前期集中スクーリング①	29 金	×	29 月	
30 水		30 金		30 月		30 水	○ 前期集中スクーリング②	30 土	×	30 火	× 大学短大入試イベント
31 木		31 土	◎ 本校学習会			31 木	○ 前期集中スクーリング③	31 日	×		
7/31までにレポート・視聴報告書を提出 した科目は前期定期試験を受験可能				9月4週教科書渡し(送付)・視聴アカウント交付 学習開始							

【記号】 ○ 面接指導日 ◎ 行事・特別活動 ● 定期考査 ■ 報告課題提出日 × 新村キャンパス自習施設使用不可

10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月	
1 水		1 土	× 第5回学校説明会	1 月		1 木	× 元日	1 日	×	1 日	×
2 木	◎ 後期入学式	2 日	× 1日は新村キャンパス 自習使用不可	2 火		2 金	×	2 月		2 月	
3 金		3 月	× 文化の日	3 水		3 土	×	3 火	● 後期定期試験再試験	3 火	
4 土	×	4 火		4 木	○ 後期標準スクーリング⑤ ■ レポート提出日⑤⑩	4 日	×	4 水	● 後期定期試験再試験	4 水	
5 日	×	5 水		5 金		5 月		5 木	○ 補充スクーリング	5 木	
6 月		6 土	◎ 特別活動候補日	6 土	◎ 特別活動候補日	6 火	○ 後期特別スクーリング	6 金	×	6 金	◎ 後期卒業式
7 火		7 金		7 日	×	7 水	○ 後期特別スクーリング	7 土	×	7 土	×
8 水		8 土	◎ 本校学習会	8 月		8 木	○ 後期特別スクーリング	8 日	×	8 日	×
9 木	◎ 特別活動候補日	9 日	×	9 火		9 金	○ 後期特別スクーリング	9 月	○ 補充スクーリング	9 月	
10 金		10 月		10 水		10 土	×	10 火	○ 補充スクーリング	10 火	◎ 在校生履修 オリエンテーション
11 土	◎ 安曇野廃線敷を散策 ×	11 火		11 木	◎ 特別活動候補日	11 日	×	11 水	建国記念日	11 水	
12 日	×	12 水		12 金	×	12 月	× 成人の日	12 木	○ 補充スクーリング	12 木	
13 月	× スポーツの日	13 木	○ 後期標準スクーリング③ ■ レポート提出日③⑨	13 土	× 第6回学校説明会(オンライン)	13 火	● 後期定期試験	13 金	○ 補充スクーリング	13 金	
14 火		14 金		14 日	×	14 水	● 後期定期試験	14 土	× 第8回学校説明会	14 土	×
15 水		15 土	×	15 月		15 木	● 後期定期試験	15 日	×	15 日	×
16 木	○ 後期標準スクーリング① ■ レポート提出日①⑦	16 日	×	16 火		16 金	×	16 月	○ 補充スクーリング	16 月	
17 金	梓森祭	17 月		17 水		17 土	×	17 火	○ 補充スクーリング	17 火	
18 土	◎ 梓森祭 × 梓森祭	18 火		18 木	○ 後期標準スクーリング⑥ ■ レポート提出日⑥⑫	18 日	×	18 水		18 水	
19 日	× 梓森祭	19 水		19 金		19 月		19 木	● 補充後期試験	19 木	
20 月		20 木	◎ 特別活動候補日	20 土	◎ 本校学習会	20 火		20 金		20 金	× 春分の日
21 火		21 金		21 日	× 20日は新村キャンパス 自習使用不可	21 水		21 土	×	21 土	×
22 水		22 土	◎ 上土映画フェス ×	22 月	■ 後期レポート・視聴報告書締切	22 木		22 日	×	22 日	×
23 木	◎ 特別活動候補日	23 日	◎ 上土映画フェス × 勤労感謝の日	23 火	○ 後期集中スクーリング①	23 金		23 月	× 天皇誕生日	23 月	
24 金		24 月	× 勤労感謝の日 振替休日	24 水	○ 後期集中スクーリング②	24 土	× 第7回学校説明会	24 火		24 火	
25 土	×	25 火		25 木	○ 後期集中スクーリング③	25 日	×	25 水	後期成績・ 単位認定会議	25 水	
26 日	×	26 水		26 金	○ 後期集中スクーリング④	26 月		26 木		26 木	
27 月		27 木	○ 後期標準スクーリング④ ■ レポート提出日④⑩	27 土	×	27 火		27 金		27 金	◎ 新入生履修 オリエンテーション
28 火		28 金		28 日	×	28 水		28 土	×	28 土	×
29 水		29 土	◎ 本校学習会	29 月	×	29 木	○ 補充スクーリング			29 日	×
30 木	○ 後期標準スクーリング② ■ レポート提出日②⑧	30 日	× 29日は新村キャンパス 自習使用不可	30 火	×	30 金	○ 補充スクーリング			30 月	
31 金	×			31 水	×	31 土	×			31 火	
12/31までにレポート・視聴報告書を提出した科目は後期定期試験を受験可能											

【記号】 ○ 面接指導日 ◎ 行事・特別活動 ● 定期考査 ■ 報告課題提出日 × 新村キャンパス自習施設使用不可

令和7(2025)年度 年間行事予定表 (本校)

松商学園高等学校通信制課程

4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
1 火		1 木		1 日		1 火		1 金		1 月	
2 水		2 金		2 月		2 水		2 土		2 火	
3 木		3 土	憲法記念日	3 火		3 木	■ レポート提出日⑤	3 日		3 水	
4 金		4 日	みどりの日	4 水		4 金		4 月		4 木	
5 土		5 月	こどもの日	5 木	■ レポート提出日③	5 土		5 火		5 金	
6 日		6 火	みどりの日振替休日	6 金		6 日		6 水		6 土	
7 月		7 水		7 土		7 月		7 木		7 日	
8 火		8 木		8 日		8 火		8 金		8 月	
9 水		9 金		9 月		9 水		9 土		9 火	
10 木		10 土		10 火		10 木		10 日		10 水	前期成績・ 単位認定会議
11 金		11 日		11 水		11 金		11 月	山の日	11 木	
12 土		12 月		12 木		12 土		12 火		12 金	
13 日		13 火		13 金		13 日		13 水		13 土	
14 月		14 水		14 土		14 月		14 木		14 日	
15 火		15 木		15 日		15 火		15 金		15 月	敬老の日
16 水		16 金		16 月		16 水		16 土		16 火	
17 木		17 土		17 火		17 木	■ レポート提出日⑥	17 日		17 水	
18 金	◎ 開校記念日	18 日		18 水		18 金		18 月	3年前期成績・単位 認定会議	18 木	
19 土		19 月		19 木	■ レポート提出日④	19 土	◎ 本校学習会	19 火		19 金	
20 日		20 火		20 金		20 日		20 水		20 土	
21 月		21 水		21 土		21 月	海の日	21 木		21 日	
22 火		22 木	■ レポート提出日②	22 日		22 火		22 金		22 月	
23 水		23 金		23 月		23 水		23 土		23 火	秋分の日
24 木		24 土		24 火		24 木	■ 前期レポート・視聴報告書補切	24 日		24 水	
25 金		25 日		25 水		25 金		25 月		25 木	
26 土		26 月		26 木		26 土		26 火		26 金	
27 日		27 火		27 金		27 日		27 水		27 土	
28 月		28 水		28 土	◎ 本校学習会	28 月		28 木		28 日	
29 火	昭和の日	29 木		29 日		29 火		29 金		29 月	
30 水		30 金		30 月		30 水		30 土		30 火	
		31 土	◎ 本校学習会			31 木		31 日			
7/31までにレポート・視聴報告書を提出 した科目は前期定期試験を受験可能											

10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月			
1	水	1	土	1	月	1	木	1	日	1	日		
2	木	2	日	2	火	2	金	2	月	2	月		
3	金	3	月	3	水	3	土	3	火	3	火		
4	土	4	火	4	木	■ レポート提出日⑤⑩	4	日	4	水	4	水	
5	日	5	水	5	金		5	月	5	木	5	木	
6	月	6	木	6	土		6	火	6	金	6	金	
7	火	7	金	7	日		7	水	7	土	7	土	
8	水	8	土	◎ 本校学習会	8	月	8	木	8	日	8	日	
9	木	9	日		9	火	9	金	○ 補充スクーリング	9	月	9	月
10	金	10	月		10	水	10	土	○ 補充スクーリング	10	火	◎ 在校生履修 オリエンテーション	
11	土	11	火		11	木	11	日	11	水	11	水	
12	日	12	水		12	金	12	月	○ 補充スクーリング	12	木	12	木
13	月	13	木	スポーツの日 ■ レポート提出日③⑨	13	土	13	火	○ 補充スクーリング	13	金	13	金
14	火	14	金		14	日	14	水	14	土	14	土	
15	水	15	土		15	月	15	木	15	日	15	日	
16	木	16	日	■ レポート提出日①⑦	16	火	16	金	○ 補充スクーリング	16	月	16	月
17	金	17	月		17	水	17	土	○ 補充スクーリング	17	火	17	火
18	土	18	火		18	木	18	日	18	水	18	水	
19	日	19	水		19	金	19	月	● 補充後期試験	19	木	19	木
20	月	20	木		20	土	◎ 本校学習会	20	金	20	土	20	土
21	火	21	金		21	日		21	水	21	月	21	月
22	水	22	土		22	月	■ 後期レポート・視聴報告書締切	22	木	22	日	22	日
23	木	23	日	勤労感謝の日	23	火		23	金	23	月	23	月
24	金	24	月	勤労感謝の日振替休	24	水		24	土	24	火	24	火
25	土	25	火		25	木		25	日	25	水	25	水
26	日	26	水		26	金		26	月	26	木	26	木
27	月	27	木	■ レポート提出日④⑩	27	土		27	日	27	金	27	金
28	火	28	金		28	日		28	水	28	土	28	土
29	水	29	土	◎ 本校学習会	29	月		29	木			29	土
30	木	30	日	■ レポート提出日②⑧	30	火		30	金			30	日
31	金				31	水		31	土			31	火
				12/31までにレポート・視聴報告書を提出した科目は後期定期試験を受験可能									

令和7(2025)年度 年間行事予定表 (新村キャンパス)

松商学園高等学校通信制課程

4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
1 火		1 木	転入前Ⅲ期出願開始	1 日	× 19日は新村キャンパス 自習使用不可	1 火		1 金	○ 前期集中スクーリング④ 新後期転後Ⅰ期出願	1 月	前期A日程出願開始
2 水		2 金		2 月		2 水		2 土	× 1日 3年前期定試	2 火	● 前期定期試験再試験
3 木		3 土	× 憲法記念日	3 火		3 木	○ 前期標準スクーリング⑥ ■ レポート提出日⑤	3 日	×	3 水	● 前期定期試験再試験 後期入試合格発表
4 金	◎ 前期入学式	4 日	× みどりの日	4 水		4 金		4 月		4 木	
5 土	×	5 月	× こどもの日	5 木	○ 前期標準スクーリング③ ■ レポート提出日③	5 土	×	5 火	○ 前期特別スクーリング 保護者懇談	5 金	
6 日	×	6 火	× みどりの日振替休日	6 金		6 日	×	6 水	○ 前期特別スクーリング 保護者懇談	6 土	×
7 月		7 水		7 土	×	7 月		7 木	○ 前期特別スクーリング 保護者懇談	7 日	×
8 火	◎ 履修 オリエンテーション	8 木	○ 前期標準スクーリング① ■ レポート提出日①	8 日	×	8 火		8 金	○ 前期特別スクーリング 3年前期定試再試験	8 月	
9 水		9 金		9 月		9 水		9 土	×	9 火	
10 木	前期・通年履修登録 期限	10 土	×	10 火		10 木	◎ 特別活動候補日	10 日	×	10 水	前期成績・ 単位認定会議
11 金		11 日	×	11 水		11 金		11 月	× 山の日	11 木	
12 土	×	12 月		12 木	◎ 特別活動候補日	12 土	×	12 火	×	12 金	
13 日	×	13 火		13 金		13 日	×	13 水	×	13 土	×
14 月		14 水	転入前Ⅲ期出願締切	14 土	× 第1回学校説明会 (オンライン)	14 月		14 木	×	14 水	×
15 火		15 木	◎ 特別活動候補日	15 日	×	15 火		15 金	×	15 土	× 敬老の日
16 水		16 金		16 月		16 水		16 土	×	16 火	◎ 履修 オリエンテーション
17 木		17 土	× 転入前Ⅲ期入試実施日	17 火		17 木	○ 前期標準スクーリング⑥ ■ レポート提出日⑥	17 日	×	17 水	
18 金	開校記念日 ◎ 開校記念式典	18 日	×	18 水		18 金		18 月	3年前期成績・単位 認定会議	18 木	◎ 前期卒業式 後期履修登録期限
19 土	×	19 月		19 木	○ 前期標準スクーリング④ ■ レポート提出日④	19 土	◎ 本校学習会	19 火	● 前期定期試験	19 金	
20 日	×	20 火		20 金		20 日	× 19日は新村キャンパス 自習使用不可	20 水	● 前期定期試験	20 土	×
21 月	◎ ガイダンス期間 教科書・PC確認	21 水		21 土	◎ 松本を知る城下町FW	21 月	× 海の日	21 木	● 前期定期試験	21 日	×
22 火	◎ ガイダンス期間 教科書・PC確認	22 木	○ 前期標準スクーリング② ■ レポート提出日②	22 日	×	22 火		22 金	新後期転後Ⅰ期出願締切	22 月	転入後Ⅲ期出願開始
23 水	◎ ガイダンス期間 教科書・PC確認	23 金		23 月		23 水		23 土	×	23 日	× 秋分の日
24 木	◎ ガイダンス期間 教科書・PC確認	24 土	◎ 交流バスハイク(要検討)	24 火		24 木	■ 前期レポート・視聴報告書締切	24 日	× 第3回学校説明会	24 水	転入後Ⅱ期出願締切
25 金	◎ ガイダンス期間 教科書・PC確認	25 日	×	25 水		25 金		25 月	転入後Ⅱ期出願開始	25 木	
26 土	×	26 月		26 土	◎ 特別活動候補日	26 日	× 第2回学校説明会	26 火		26 金	×
27 日	×	27 火		27 金		27 日	×	27 水		27 土	× 第4回学校説明会(オンライン) 転入後Ⅱ期試験日
28 月		28 水		28 土	◎ 本校学習会	28 月		28 木		28 日	×
29 火	× 昭和の日	29 木	◎ 特別活動候補日	29 日	× 28日は新村キャンパス 自習使用不可	29 火	○ 前期集中スクーリング①	29 金	× 新後期転後Ⅰ期試験日	29 月	
30 水		30 金		30 月		30 水	○ 前期集中スクーリング②	30 土	×	30 火	× 大学短大入試イベント
		31 土	◎ 本校学習会			31 木	○ 前期集中スクーリング③	31 日	×		
						7/31までにレポート・視聴報告書を提出 した科目は前期定期試験を受験可能					

10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月	
1	水	1	土	1	月	1	木	1	日	1	日
	前期A日程出願締切	× 第5回学校説明会 転入Ⅲ期入試日					× 元日	×		×	×
2	木	2	日	2	火	2	金	2	月	2	月
	◎ 後期入学式 前期B日程出願開始	× 1日は新村キャンパス 自習使用不可									
3	金	3	月	3	水	3	土	3	火	3	火
		× 文化の日					×	● 後期定期試験再試験			
4	土	4	火	4	木	4	日	4	水	4	水
×	前期A日程入試実施日			○ 後期標準スクーリング⑤ ■ レポート提出日⑤⑩			×	● 後期定期試験再試験			
5	日	5	水	5	金	5	月	5	木	5	木
×								○ 補充スクーリング			
6	月	6	木	6	土	6	火	6	金	6	金
		◎ 特別活動候補日		◎ 特別活動候補日			○ 後期特別スクーリング	×			◎ 後期卒業式
7	火	7	金	7	日	7	水	7	土	7	土
				×			○ 後期特別スクーリング	×			×
8	水	8	土	8	月	8	木	8	日	8	日
	前期A日程合格発表	◎ 本校学習会					○ 後期特別スクーリング	×			×
9	木	9	日	9	火	9	金	9	月	9	月
◎ 特別活動候補日		×					○ 後期特別スクーリング		○ 補充スクーリング		
10	金	10	月	10	水	10	土	10	火	10	火
				前期B日程出願締切			×	○ 補充スクーリング			◎ 在校生履修 オリエンテーション
11	土	11	火	11	木	11	日	11	水	11	水
◎ 安曇野廃線敷を散策	×			◎ 特別活動候補日 前期C日程出願開始			×	前期C日程出願締切 建国記念日			前期D併願出願締切
12	日	12	水	12	金	12	月	12	木	12	木
×				×			×	○ 補充スクーリング 前期D併願出願開始			
13	月	13	木	13	土	13	火	13	金	13	金
×	スポーツの日	○ 後期標準スクーリング③ ■ レポート提出日③⑨		× 第6回学校説明会(オンライン) 前期B日程入試実施日			● 後期定期試験	○ 補充スクーリング			
14	火	14	金	14	日	14	水	14	土	14	土
				×			● 後期定期試験	× 第8回学校説明会 前期C日程入試実施日			× 前期D併願入試実施日
15	水	15	土	15	月	15	木	15	日	15	日
		×					● 後期定期試験	×			×
16	木	16	日	16	火	16	金	16	月	16	月
○ 後期標準スクーリング① ■ レポート提出日①⑦		×					×	○ 補充スクーリング			
17	金	17	月	17	水	17	土	17	火	17	火
梓森祭				前期B日程合格発表			×	○ 補充スクーリング			
18	土	18	火	18	木	18	日	18	水	18	水
◎ 梓森祭 × 梓森祭				○ 後期標準スクーリング⑥ ■ レポート提出日⑥⑫			×	前期C日程合格発表			前期D併願合格発表
19	日	19	水	19	金	19	月	19	木	19	木
× 梓森祭								● 補充後期試験			前期追試験実施日
20	月	20	木	20	土	20	火	20	金	20	金
		◎ 特別活動候補日		◎ 本校学習会						× 前期追試験合格発表 春分の日	
21	火	21	金	21	日	21	水	21	土	21	土
				× 20日は新村キャンパス 自習使用不可				×			×
22	水	22	土	22	月	22	木	22	日	22	日
		◎ 上土映画フェス		■ 後期レポート・視聴報告書締切				×			×
23	木	23	日	23	火	23	金	23	月	23	月
◎ 特別活動候補日		◎ 上土映画フェス × 勤労感謝の日		○ 後期集中スクーリング①				×	天皇誕生日		
24	金	24	月	24	水	24	土	24	火	24	火
		× 勤労感謝の日 振替休日		○ 後期集中スクーリング②		× 第7回学校説明会					
25	土	25	火	25	木	25	日	25	水	25	水
×				○ 後期集中スクーリング③		×		後期成績・ 単位認定会議			
26	日	26	水	26	金	26	月	26	木	26	木
×				○ 後期集中スクーリング④							
27	月	27	木	27	土	27	火	27	金	27	金
		○ 後期標準スクーリング④ ■ レポート提出日④⑩		×							◎ 新入生履修 オリエンテーション
28	火	28	金	28	日	28	水	28	土	28	土
				×				×			×
29	水	29	土	29	月	29	木	29	日	29	日
転入後Ⅲ期出願締切		◎ 本校学習会		×			○ 補充スクーリング				×
30	木	30	日	30	火	30	金	30	月	30	月
○ 後期標準スクーリング② ■ レポート提出日②⑧		× 29日は新村キャンパス 自習使用不可		×			○ 補充スクーリング				
31	金			31	水	31	土			31	火
×				×			×				
				12/31までにレポート・視聴報告書を提出した科目は後期定期試験を受験可能							

令和7年度 通信制課程普通科 教育課程表

●必履修 ○選択必履修 *学校設定教科 ※学校設定科目 □通年開講 △前期後期開講

教科	科目	履修	開講	標準 単位 数	認定 単位 数	添削 指導 (回)	面接 指導 (単位 時間)
国語	現代の国語	●	△	2	2	6	2
	言語文化	●	△	2	2	6	2
	論理国語		□	4	4	12	4
	文学国語		□	4	4	12	4
	古典探究		□	4	4	12	4
地理歴史	地理総合	●	△	2	2	6	2
	歴史総合	●	△	2	2	6	2
	日本史探究		□	3	3	9	3
	世界史探究		□	3	3	9	3
	※日本史総論	※	□	3	3	9	3
	※世界史総論	※	□	3	3	9	3
公民	公共	●	△	2	2	6	2
	政治・経済			2	2	6	2
数学	数学Ⅰ	●	□	3	3	9	3
	数学Ⅱ		□	4	4	12	4
	数学A			2	2	6	2
理科	科学と人間生活	●		2	2	6	8
	物理基礎	○		2	2	6	8
	化学基礎	○		2	2	6	8
	生物基礎	○		2	2	6	8
	物理		□	4	4	12	16
	化学		□	4	4	12	16
	生物		□	4	4	12	16
保健体育	保健	●	△	2	2	6	2
	体育	●	□	7~8	7	7	35
芸術	書道Ⅰ	○	△	2	2	6	8
外国語	英語コミュニケーションⅠ	●	□	3	3	9	12
	英語コミュニケーションⅡ		□	4	4	12	16
	論理・表現Ⅰ		△	2	2	6	8
家庭	家庭基礎	●	△	2	2	5	5
情報	情報Ⅰ	●	△	2	2	6	4
*キャリア講座	※ビジネス総合	※	△	2	2	6	2
	※スポーツ総論	※	△	2	2	2	4
	※文書表現	※	△	2	2	6	2
計					95	266	223
総合的な探究の時間		●	△	3~6	3	6	6
合計					98	272	229

前期標準スクーリング① 5月8日(木)

【レポート提出日①】

前期標準スクーリング② 5月22日(木)

【レポート提出日②】

時限	時間			1年次モデル	2年次モデル	3年次モデル	時限	時間			1年次モデル	2年次モデル	3年次モデル
	科目	科目	科目	科目	科目	科目		科目	科目	科目	科目		
1	9:10	~	10:00				1	9:10	~	10:00			
				担当者	担当者	担当者							
				使用教室	使用教室	使用教室							
2	10:10	~	11:00	LHR標	LHR標	LHR標	2	10:10	~	11:00	地理総合①標	スポーツ総論①標	古典探究①標
				丸山洋	吉江	横内克					丸山洋	永井	高山幸
				132/130	132/131	132/133					130	131	133
3	11:10	~	12:00	現代の国語①標	2総合探究①標	論理表現①標	3	11:10	~	12:00	1体育①標	2体育①標	3体育①標
				高山幸	吉江	脇淵・長谷川敦					永井	田貝	中島
				130	131	133					多目的グラウンド/130	多目的グラウンド/131	多目的グラウンド/133
SHR/ 昼休 み	12:00	~	12:45				SHR/ 昼休 み	12:00	~	12:45			
4	12:50	~	13:40	英語コミュニケーションⅠ①標	公共①標	3総合探究①標	4	12:50	~	13:40	数学Ⅰ①標	英語コミュニケーションⅡ①標	政治経済①標
				脇淵・長谷川敦	丸山洋	横内克					横内克	脇淵・長谷川敦	丸山洋
				130	131	133					130	131	133
5	13:50	~	14:40	科学と人間生活①標			5	13:50	~	14:40	科学と人間生活②標	日本史探究①標 世界史探究①標	
				吉江							吉江	丸山洋・百瀬重	
				130							130	131/133	
6	14:50	~	15:40				6	14:50	~	15:40	歴史総合①標	生物①標 化学①標 物理①標	
											丸山洋	小林正・島田・吉江	
											130	131/134/面談室	
7	15:50	~	16:40				7	15:50	~	16:40			
清掃 レポート	16:45	~	17:00				清掃 レポート	16:45	~	17:00			清掃

前期標準スクーリング③ 6月5日(木)

【レポート提出日③】

前期標準スクーリング④ 6月19日(木)

【レポート提出日④】

時限		時間		1年次モデル	2年次モデル	3年次モデル	時限		時間		1年次モデル	2年次モデル	3年次モデル
				科目	科目	科目					科目	科目	科目
1	9:10	～	10:00				1	9:10	～	10:00			
2	10:10	～	11:00	1保健①標	生物②標 化学②標 物理②標	3総合探究②標	2	10:10	～	11:00	1総合探究①標		
				永井	小林正・島田・吉江	横内克					丸山洋		
				130	131/134/面談室	133					130		
3	11:10	～	12:00	1体育②標	2体育②標	3体育②標	3	11:10	～	12:00	科学と人間生活④ 標	スポーツ総論②標	論理表現②標
				永井	田貝	中島					吉江	永井	脇淵・長谷川敦
				多目的グラウンド/130	多目的グラウンド/131	多目的グラウンド/133					130	131	133
SHR/ 昼休 み	12:00	～	12:45				SHR/ 昼休 み	12:00	～	12:45			
4	12:50	～	13:40	科学と人間生活③ 標	英語コミュニケー ションⅡ②標	数学A①標	4	12:50	～	13:40	英語コミュニケー ションⅠ②標	スポーツ総論③標	日本史総論①標
				吉江	脇淵・長谷川敦	横内克					脇淵・長谷川敦	永井	百瀬重
				130	131	133					130	131	133
5	13:50	～	14:40	書道Ⅰ①標	2保健①標		5	13:50	～	14:40	情報Ⅰ①標	数学Ⅱ①標	文書表現①標
				長谷川澄	永井						名取	横内克	丸山洋
				131	130						130	131	133
6	14:50	～	15:40				6	14:50	～	15:40	書道Ⅰ②標		
											長谷川澄		
											131		
7	15:50	～	16:40				7	15:50	～	16:40			
情報レポート	16:45	～	17:00				情報レポート	16:45	～	17:00			清掃

前期標準スクーリング⑤ 7月3日(木)

【レポート提出日⑤】

前期標準スクーリング⑥ 7月17日(木)

【レポート提出日⑥】

		1年次モデル			2年次モデル			3年次モデル					1年次モデル			2年次モデル			3年次モデル		
時限	時間	科目			科目			科目			時限	時間	科目			科目			科目		
1	9:10 ~ 10:00										1	9:10 ~ 10:00									
2	10:10 ~ 11:00	英語コミュニケーションⅠ③標			スポーツ総論④標			文学国語①標			2	10:10 ~ 11:00	家庭基礎②標			生物④標 化学④標 物理④標			論理表現④標		
		脇淵・長谷川敦			永井			高山幸					原			小林正・島田・吉江			脇淵・長谷川敦		
		130			131			133					131/家庭科室			130/134/面談室			133		
3	11:10 ~ 12:00	家庭基礎①標			論理国語①標			論理表現③標			3	11:10 ~ 12:00	1体育③標			2体育③標			3体育③標		
		原			高山幸			脇淵・長谷川敦					永井			田貝			中島		
		131/家庭科室			130			133					多目的グラウンド/130			多目的グラウンド/131			多目的グラウンド/133		
SHR/ 昼休 み	12:00 ~ 12:45										SHR/ 昼休 み	12:00 ~ 12:45									
4	12:50 ~ 13:40	情報Ⅰ②標			生物③標 化学③標 物理③標			文書表現②標			4	12:50 ~ 13:40	1総合探究②標			英語コミュニケーションⅡ④標					
		名取			小林正・島田・吉江			丸山洋					丸山洋			脇淵・長谷川敦					
		130			131/134/面談室			133					130			131					
5	13:50 ~ 14:40	書道Ⅰ③標			ビジネス総合①標						5	13:50 ~ 14:40	書道Ⅰ④標			ビジネス総合②標					
		長谷川澄			輪湖								長谷川澄			輪湖					
		131			130								131			130					
6	14:50 ~ 15:40				英語コミュニケーションⅡ③標						6	14:50 ~ 15:40									
					脇淵・長谷川敦																
					131																
7	15:50 ~ 16:40										7	15:50 ~ 16:40									
情報レポート	16:45 ~ 17:00										情報レポート	16:45 ~ 17:00									

後期標準スクーリング① 10月16日(木) 【レポート提出日①】

後期標準スクーリング② 10月30日(木) 【レポート提出日②】

時限	時間			1年次モデル	2年次モデル	3年次モデル	時限	時間			1年次モデル	2年次モデル	3年次モデル
				科目	科目	科目					科目	科目	科目
1	9:10	～	10:00				1	9:10	～	10:00			
				担当者	担当者	担当者							
				使用教室	使用教室	使用教室							
2	10:10	～	11:00	LHR標	LHR標	LHR標	2	10:10	～	11:00	生物基礎①標 化学基礎①標 物理基礎①標	スポーツ総論①標	古典探究②標
				丸山洋	吉江	横内克					小林正・島田・吉江	永井	高山幸
				132/130	132/131	132/133					130/134/面談室	131	133
3	11:10	～	12:00	現代の国語①標	2総合探究①標	論理表現①標	3	11:10	～	12:00	1体育④標	2体育④標	3体育④標
				高山幸	吉江	脇淵・長谷川敦					永井	田貝	中島
				130	131	133					総合グラウンド/130	総合グラウンド/131	総合グラウンド/133
SHR/ 昼休 み	12:00	～	12:45				SHR/ 昼休 み	12:00	～	12:45			
4	12:50	～	13:40	英語コミュニケーションⅠ④標	公共①標	3総合探究①標	4	12:50	～	13:40	数学Ⅰ②標	英語コミュニケーションⅡ⑤標	日本史総論②標 世界史総論②標
				脇淵・長谷川敦	丸山洋	横内克					横内克	脇淵・長谷川敦	丸山洋
				130	131	133					130	131	133/134
5	13:50	～	14:40	地理総合①標			5	13:50	～	14:40	生物基礎②標 化学基礎②標 物理基礎②標	日本史探究②標 世界史探究②標	
				丸山洋							小林正・島田・吉江	丸山洋・百瀬重	
				130							130/134/面談室	131/133	
6	14:50	～	15:40				6	14:50	～	15:40	歴史総合①標	生物⑤標 化学⑤標 物理⑤標	
											丸山洋	小林正・島田・吉江	
											130	131/134/面談室	
7	15:50	～	16:40				7	15:50	～	16:40			
清掃レポート	16:45	～	17:00				清掃レポート	16:45	～	17:00			清掃

後期標準スクーリング③ 11月13日(木) 【レポート提出日③】

後期標準スクーリング④ 11月27日(木) 【レポート提出日④】

時限	時間			1年次モデル	2年次モデル	3年次モデル	時限	時間			1年次モデル	2年次モデル	3年次モデル
				科目	科目	科目					科目	科目	科目
1	9:10	～	10:00				1	9:10	～	10:00			
2	10:10	～	11:00	1保健①標	生物⑥標 化学⑥標 物理⑥標	3総合探究②標	2	10:10	～	11:00	生物基礎④標 化学基礎④標 物理基礎④標	スポーツ総論②標	文書表現①標
				永井	小林正・島田・吉江	横内克					小林正・島田・吉江	永井	丸山洋
				130	131/134/面談室	133					130/134/面談室	131	133
3	11:10	～	12:00	1体育⑤標	2体育⑤標	3体育⑤標	3	11:10	～	12:00	言語文化①標	2総合探究②標	論理表現②標
				永井	田貝	中島					高山幸	吉江	脇淵・長谷川敦
				総合グラウンド/130	総合グラウンド/131	総合グラウンド/133					130	131	133
SHR/ 昼休 み	12:00	～	12:45				SHR/ 昼休 み	12:00	～	12:45			
4	12:50	～	13:40	生物基礎③標 化学基礎③標 物理基礎③標	英語コミュニケーションⅡ⑥標		4	12:50	～	13:40	英語コミュニケーションⅠ⑤標	スポーツ総論③標	日本史総論③標 世界史総論③標
				小林正・島田・吉江	脇淵・長谷川敦						脇淵・長谷川敦	永井	丸山洋・百瀬重
				130/133/134	131						130	131	133/134
5	13:50	～	14:40	書道Ⅰ①標	2保健①標		5	13:50	～	14:40	情報Ⅰ①標	数学Ⅱ②標	
				長谷川澄	永井						名取	横内克	
				131	130						130	131	
6	14:50	～	15:40				6	14:50	～	15:40	書道Ⅰ②標		
											長谷川澄		
											131		
7	15:50	～	16:40				7	15:50	～	16:40			
準備レポート	16:45	～	17:00				準備レポート	16:45	～	17:00			清掃

後期標準スクーリング⑤ 12月4日(木) 【レポート提出日⑤】

後期標準スクーリング⑥ 12月18日(木) 【レポート提出日⑥】

		1年次モデル			2年次モデル			3年次モデル					1年次モデル			2年次モデル			3年次モデル		
時限	時間			科目	科目	科目	科目	科目	科目	時限	時間			科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
1	9:10	～	10:00							1	9:10	～	10:00								
2	10:10	～	11:00	英語コミュニケーションⅠ⑥標	スポーツ総論④標	文学国語②標				2	10:10	～	11:00	家庭基礎②標	生物⑧標 化学⑧標 物理⑧標	論理表現④標					
				脇淵・長谷川敦	永井	高山幸								原	小林正・島田・吉江	脇淵・長谷川敦					
				130	131	133								131/家庭科室	130/134/面談室	133					
3	11:10	～	12:00	家庭基礎①標	論理国語②標	論理表現③標				3	11:10	～	12:00	1体育⑥標	2体育⑥標	3体育⑥標					
				原	高山幸	脇淵・長谷川敦								永井	田貝	中島					
				131/家庭科室	130	133								総合グラウンド/130	総合グラウンド/131	総合グラウンド/133					
SHR/ 昼休 み	12:00	～	12:45							SHR/ 昼休 み	12:00	～	12:45								
4	12:50	～	13:40	情報Ⅰ②標	生物⑦標 化学⑦標 物理⑦標	文書表現②標				4	12:50	～	13:40	1総合探究①標	英語コミュニケーションⅡ⑧標						
				名取	小林正・島田・吉江	丸山洋								丸山洋	脇淵・長谷川敦						
				130	131/134/面談室	133								130	131						
5	13:50	～	14:40	書道Ⅰ③標	ビジネス総合①標					5	13:50	～	14:40	書道Ⅰ④標	ビジネス総合②標						
				長谷川澄	輪湖									長谷川澄	輪湖						
				131	130									131	130						
6	14:50	～	15:40		英語コミュニケーションⅡ⑦標					6	14:50	～	15:40	1総合探究②標							
					脇淵・長谷川敦									丸山洋							
					131									130							
7	15:50	～	16:40							7	15:50	～	16:40								
※朝レポート	16:45	～	17:00							※朝レポート	16:45	～	17:00								

前期集中スクーリング① 7月29日(火)

前期集中スクーリング② 7月30日(水)

		1年次モデル			2年次モデル			3年次モデル					1年次モデル			2年次モデル			3年次モデル		
時限	時間			科目	科目	科目	時限	時間			科目	科目	科目	時限	時間			科目	科目	科目	
1	9:10	~	10:00	LHR集	LHR集	LHR集	1	9:10	~	10:00	言語文化①集				9:10	~	10:00	言語文化①集		論理表現②集	
				丸山洋 132/130	吉江 132/131	横内克 132/133					高山幸 130							高山幸 130		脇淵・長谷川敦 133	
2	10:10	~	11:00	現代の国語①集			2	10:10	~	11:00	1体育①集	2体育①集	3体育①集					永井	田貝	中島	
				高山幸 130							多目的グラウンド/130	多目的グラウンド/131	多目的グラウンド/133					多目的グラウンド/130	多目的グラウンド/131	多目的グラウンド/133	
3	11:10	~	12:00	科学と人間生活①集	論理国語①集	3総合探究①集	3	11:10	~	12:00	1体育②集	2体育②集	3体育②集					永井	田貝	中島	
				吉江 130	高山幸 131	横内克 133					多目的グラウンド/130	多目的グラウンド/131	多目的グラウンド/133					多目的グラウンド/130	多目的グラウンド/131	多目的グラウンド/133	
SHR/昼 休み	12:00	~	12:45				SHR/昼 休み	12:00	~	12:45											
4	12:50	~	13:40	数学Ⅰ①集	公共①集	論理表現①集	4	12:50	~	13:40	科学と人間生活②集	英語コミュニケーション②集	文書表現①集					吉江 130	脇淵・長谷川敦 131	丸山洋 133	
				横内克 130	丸山洋 131	脇淵・長谷川敦 133					吉江 130	脇淵・長谷川敦 131	丸山洋 133					吉江 130	脇淵・長谷川敦 131	丸山洋 133	
5	13:50	~	14:40	1保健①集	英語コミュニケーション①集		5	13:50	~	14:40	英語コミュニケーションⅠ①集							脇淵・長谷川敦 130			
				永井 130	脇淵・長谷川敦 131						脇淵・長谷川敦 130							脇淵・長谷川敦 130			
6	14:50	~	15:40	書道Ⅰ①集	スポーツ総論①集		6	14:50	~	15:40	1総合探究①集	スポーツ総論②集	論理表現③集					丸山洋 130	永井 131	脇淵・長谷川敦 133	
				長谷川澄 131	永井 130						丸山洋 130	永井 131	脇淵・長谷川敦 133					丸山洋 130	永井 131	脇淵・長谷川敦 133	
7	15:50	~	16:40	歴史総合①集			7	15:50	~	16:40	1体育③集	2保健①集						永井 体育施設/130	田貝 131		
				丸山洋 130							永井 体育施設/130	田貝 131						永井 体育施設/130	田貝 131		
清掃レポート	16:45	~	17:00				清掃レポート	16:45	~	17:00											清掃

前期集中スクーリング③ 7月31日(木)

前期集中スクーリング④ 8月1日(金)

時限	時間			1年次モデル	2年次モデル	3年次モデル	時限	時間			1年次モデル	2年次モデル	3年次モデル
				科目	科目	科目					科目	科目	科目
1	9:10	～	10:00	科学と人間生活③集	ビジネス総合①集	政治経済①集 科学と人間生活考 査	1	9:10	～	10:00	家庭基礎②集	スポーツ総論④集	政治経済考査
				吉江 130	輪湖 130	丸山洋 133					原 131/家庭科室	永井 130	133
2	10:10	～	11:00	家庭基礎①集	英語コミュニケーションⅡ③集	3総合探究②集 日本史総論・論理 表現考査	2	10:10	～	11:00	書道Ⅰ③集	ビジネス総合②集	文学国語考査
				原 131/家庭科室	脇淵・長谷川敦 131	横内克 133					長谷川澄 131	輪湖 130	133
3	11:10	～	12:00	1総合探究②集		3体育③集 地理総合・ビジネ ス総合考査	3	11:10	～	12:00	書道Ⅰ④集	英語コミュニケーションⅣ④集	文書表現考査・日 本史探究考査
				丸山洋 130		永井 体育施設/133					長谷川澄 131	脇淵・長谷川敦 130	133
SHR/昼 休み	12:00	～	12:45				SHR/昼 休み	12:00	～	12:45			
4	12:50	～	13:40	書道Ⅰ②集	2総合探究①集	文書表現②集	4	12:50	～	13:40	科学と人間生活④ 集	2体育③集	体育考査
				長谷川澄 131	吉江 130	丸山洋 133					吉江 130	永井 体育施設/131	133
5	13:50	～	14:40	情報Ⅰ①集	日本史探究①集 世界史探究①集	論理表現④集	5	13:50	～	14:40	英語コミュニケーションⅠ③集	2総合探究②集	
				名取 130	丸山洋・百瀬重 131/134	脇淵・長谷川敦 133					脇淵・長谷川敦 130	吉江 131	133
6	14:50	～	15:40	英語コミュニケーションⅡ②集	スポーツ総論③集		6	14:50	～	15:40	情報Ⅰ②集		
				脇淵・長谷川敦 130	永井 131						名取 130		133
7	15:50	～	16:40	地理総合①集			7	15:50	～	16:40			古典探究考査
				丸山洋 130									133
演習レポート	16:45	～	17:00				演習レポート	16:45	～	17:00			

後期集中スクーリング① 12月23日(火) 1月6日(火)

後期集中スクーリング② 12月24日(水) 1月7日(水)

時限	時間			1年次モデル	2年次モデル	3年次モデル	時限	時間			1年次モデル	2年次モデル	3年次モデル
				科目	科目	科目					科目	科目	科目
1	9:10	～	10:00	LHR集	LHR集	LHR集	1	9:10	～	10:00	言語文化①集	生物⑤集 化学⑤集 物理⑤集	論理表現②集
				丸山洋 132/130	吉江 132/131	横内克 132/133					高山幸 130	小林正・島田・吉江 131/134/面談室	脇淵・長谷川敦 133
2	10:10	～	11:00	現代の国語①集	数学Ⅱ②集	日本史総論②集 世界史総論②集	2	10:10	～	11:00	1体育④集	2体育④集	3体育④集
				高山幸 130	横内克 131	丸山洋・百瀬重 133/134					永井 総合グラウンド/130	田貝 総合グラウンド/131	中島 総合グラウンド/131
3	11:10	～	12:00	生物基礎①集 化学基礎①集 物理基礎①集	論理国語②集	3総合探究①集	3	11:10	～	12:00	1体育⑥集	2体育⑤集	3体育⑤集
				小林正・島田・吉江 130/134/面談室	高山幸 131	横内克 133					永井 総合グラウンド/130	田貝 総合グラウンド/131	中島 総合グラウンド/131
昼休 ム	12:00	～	12:45				昼休 ム	12:00	～	12:45			
4	12:50	～	13:40	数学Ⅰ②集	公共①集	論理表現①集	4	12:50	～	13:40	生物基礎②集 化学基礎②集 物理基礎②集	英語コミュニケーションⅡ⑥集	文書表現①集
				横内克 130	丸山洋 131	脇淵・長谷川敦 133					小林正・島田・吉江 130/134/面談室	脇淵・長谷川敦 131	丸山洋 133
5	13:50	～	14:40	1保健①集	英語コミュニケーションⅡ⑤集	古典探究②集	5	13:50	～	14:40	英語コミュニケーションⅠ④集	生物⑥集 化学⑥集 物理⑥集	文学国語②集
				永井 130	脇淵・長谷川敦 131	高山幸 133					脇淵・長谷川敦 130	小林正・島田・吉江 131/134/面談室	高山幸 133
6	14:50	～	15:40	書道Ⅰ①集	スポーツ総論①集		6	14:50	～	15:40	1総合探究①集	スポーツ総論②集	論理表現③集
				長谷川澄 131	永井 130						丸山洋 130	永井 131	脇淵・長谷川敦 133
7	15:50	～	16:40	歴史総論①集			7	15:50	～	16:40	1体育⑥集	2保健①集	
				丸山洋 130							永井 体育施設/130	田貝 131	
清掃レポ ート	16:45	～	17:00				清掃レポ ート	16:45	～	17:00			清掃

後期集中スクーリング③ 12月25日(木) 1月8日(木)

後期集中スクーリング④ 12月26日(金) 1月9日(金)

		1年次モデル			2年次モデル			3年次モデル					1年次モデル			2年次モデル			3年次モデル		
時限	時間			科目	科目	科目	時限	時間			科目	科目	科目	時限	時間			科目	科目	科目	
1	9:10	~	10:00	生物基礎③集 化学基礎③集 物理基礎③集	ビジネス総合①集	日本史総論③集 世界史総論③集	1	9:10	~	10:00	家庭基礎②集	スポーツ総論④集									
				小林正・島田・吉江 130/134/面談室	輪湖 130	丸山洋・百瀬重 133/134					原 131/家庭科室	永井 130									
2	10:10	~	11:00	家庭基礎①集	英語コミュニケーションⅦ集	3総合探究②集	2	10:10	~	11:00	書道Ⅰ③集	ビジネス総合②集									
				原 131/家庭科室	脇淵・長谷川敦 131	横内克 133					長谷川澄 131	輪湖 130									
3	11:10	~	12:00	1総合探究②集	生物⑦集 化学⑦集 物理⑦集	3体育⑥集	3	11:10	~	12:00	書道Ⅰ④集	英語コミュニケーションⅧ集									
				丸山洋 130	小林正・島田・吉江 131/134/面談室	永井 体育施設/133					長谷川澄 131	脇淵・長谷川敦 130									
昼休 み	12:00	~	12:45				昼休 み	12:00	~	12:45											
4	12:50	~	13:40	書道Ⅰ②集	2総合探究①集	文書表現②集	4	12:50	~	13:40	生物基礎④集 化学基礎④集 物理基礎④集	2体育⑥集									
				長谷川澄 131	吉江 130	丸山洋 133					小林正・島田・吉江 130/134/面談室	永井 体育施設/131									
5	13:50	~	14:40	情報Ⅰ①集	日本史探究②集 世界史探究②集	論理表現④集	5	13:50	~	14:40	英語コミュニケーションⅥ集	2総合探究②集									
				名取 130	丸山洋・百瀬重 131/134	脇淵・長谷川敦 133					脇淵・長谷川敦 130	吉江 131									
6	14:50	~	15:40	英語コミュニケーションⅤ集	スポーツ総論③集		6	14:50	~	15:40	情報Ⅰ②集	生物⑧集 化学⑧集 物理⑧集									
				脇淵・長谷川敦 130	永井 131						名取 130	小林正・島田・吉江 131/134/面談室									
7	15:50	~	16:40	地理総合①集			7	15:50	~	16:40											
				丸山洋 130																	
情報レポ ート	16:45	~	17:00				情報レポ ート	16:45	~	17:00											

2025 年度 通信制課程 前期定期試験

<< 3 年生 >>

	7 月 31 日 (木)	8 月 1 日 (金)
② 10 : 10 ~ 11 : 00	科学と人間生活 (前期)	政治経済 (前期)
③ 11 : 10 ~ 12 : 00	日本史総論 (通年) 論理表現 (前期)	文学国語 (通年)
④ 12 : 50 ~ 13 : 40	地理総合 (前期) ビジネス総合 (前期)	文書表現 (前期) 日本史探究 (通年)
⑤ 13 : 50 ~ 14 : 40		3 体育 (通年)

<< 1・2 年生 >>

	8 月 19 日 (火)	8 月 20 日 (水)	8 月 21 日 (木)
② 10 : 10 ~ 11 : 00	現代の国語 (前期)	科学と人間生活 (前期)	情報 I (前期)
			スポーツ総論 (前期)
③ 11 : 10 ~ 12 : 00	地理総合 (前期)	1 保健 (前期)	歴史総合 (前期)
	公共 (前期) 数学 II (通年)	日本史探究 世界史探究 (通年)	
④ 12 : 50 ~ 13 : 40	数学 I (通年)	英語コミュニケーション I (通年)	家庭基礎 (前期)
	論理国語 (通年)	英語コミュニケーション II (通年) ビジネス総合 (前期)	2 保健 (前期)

2025年度 通信制課程 後期定期試験（予定）

	1月13日（火）	1月14日（水）	1月15日（木）
② 10：10～11：00	言語文化 （後期）	家庭基礎 （後期）	英語コミュニケーションⅠ （通年）
	数学Ⅱ（通年） 日本史総論（通年）	論理表現 （後期）	スポーツ総論 （後期） 文書表現 （後期）
③ 11：10～12：00	歴史総合 （後期）	生物基礎 （後期）	1 体育 （通年）
	公共 （後期）	日本史探究 世界史探究 （通年） 文学国語（通年）	2 体育 （通年） 3 体育 （通年）
④ 12：50～13：40	数学Ⅰ （通年）	現代の国語 （後期）	情報Ⅰ （後期）
	論理国語 （通年）	英語コミュニケーションⅡ （通年）	ビジネス総合 （後期）
⑤ 13：50～14：40	1 保健 （後期）	地理総合 （後期）	
	2 保健 （後期）		

教科	科目			担当者
国語	現代の国語	単位数	2	高山 幸大
指導目標				
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。				
1, 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。				
2, 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				
3, 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍 現国701
面接指導	6回設定	合格時間数2時間以上(メディア1・対面1)	副教材	
報告課題(レポート)	全6回	A3 6枚 + e-ラーニング	考查範囲	報告課題1回～6回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定
前期 1～6	後期 1～6	考査日	前期 8/19 (火)	後期 1/14 (水)
回	メディア学習(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程	
1	1 自己を見つめる(P6～P17)	第1回 5/8 (木)	前期 ・学校でのスクーリング ①標5/8 ①集7/29・8/5 新村キャンパス	
2	2 他者に出会う(P24～P38)	第2回 5/22 (木)		
3	4 視野を広げる(P68～P86)	第3回 6/5 (木)		
4	5 社会と関わる(P94～P115)	第4回 6/19 (木)		
5	7 世界とつながる(P142～P158)	第5回 7/3 (木)		
6	8 未来に目を向ける(P166～P187)	第6回 7/17 (木)		
1	1 自己を見つめる(P6～P17)	第1回 10/16 (木)	後期 ・学校でのスクーリング ①標10/16 ①集12/13・1/6 新村キャンパス	
2	2 他者に出会う(P24～P38)	第2回 10/30 (木)		
3	4 視野を広げる(P68～P86)	第3回 11/13 (木)		
4	5 社会と関わる(P94～P115)	第4回 11/27 (木)		
5	7 世界とつながる(P142～P158)	第5回 12/4 (木)		
6	8 未来に目を向ける(P166～P187)	第6回 12/18 (木)		

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 作品「こそそめスープ」、「ルリボシカミキリの青」 2. 本時の目標 本文を読解し、内容への理解を深める

メディア視聴	学習内容
1時間	1 自己を見つめる 2 他者に出会う 4 視野を広げる 5 社会と関わる 7 世界とつながる 8 未来に目を向ける

評価観点	評価基準
知識・技能	文・話・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している
思考・判断・表現	読むことにおいて、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理展開などについて叙述をもとに的確に捉え、趣旨や要点を理解している
主体的に学習に取り組む態度	進んで筆者の気持ちの変化や考えを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめている。 日本語の特徴や使い方を学び、それを普通の生活に活かすことができる。

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は2単位以上（メディア視聴1単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
国語	言語文化	単位数 2	高山 幸大
指導目標			
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
1、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。			
2、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			
3、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書 東京書籍 言文701
面接指導	6回設定	合格時間数2時間以上(メディア1・対面1)	副教材
報告課題(レポート)	全6回	A3 6枚+e-ラーニング	考查範囲 報告課題1回～6回
定期考査	あり	100点法	評定 5段階評定
前期 1～12	後期 1～12	考査日 前期 8/20(水)	後期 1/13(火)
回	メディア学習(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程
1	1 随筆(P10～P22) 2,小説1(P24～P44)	第1回 5/8(木)	前期 ・学校でのスクーリング ①標6/19 ①集7/30・8/6 新村キャンパス
2	3 詩歌 命をうたう(P50～P65)		
3	4 小説2 葛藤する心(P72～P87)		
4	5 小説3 現実の向こう側(P94～P116)	第2回 5/22(木)	
5	1 古文入門 古文の世界へ(P122～P132)		
6	2 随筆 日々の思い(P138～P148)	第3回 6/5(木)	
7	3 詩歌 うたの心(P154～P163)		
8	4 物語 古人の生き方(P170～P187)		
9	4 紀行 旅の心(P190～P195)	第4回 6/19(木)	
10	1 漢文入門 漢文に親しむ(P210～P225)		
11	2 漢詩 漢詩を味わう(P228～P233)	第5回 7/3(木)	
12	3 論語 4 史話(P238～P253)		
1	1 随筆(P10～P22) 2 小説1(P24～P44)	第1回 10/16(木)	後期 ・学校でのスクーリング ①標11/27 ①集12/14・1/7 新村キャンパス
2	3 詩歌 命をうたう(P50～P65)		
3	4 小説2 葛藤する心(P72～P87)		
4	5 小説3 現実の向こう側(P94～P116)	第2回 10/30(木)	
5	1 古文入門 古文の世界へ(P122～P132)		
6	2 随筆 日々の思い(P138～P148)	第3回 11/13(木)	
7	3 詩歌 うたの心(P154～P163)		
8	4 物語 古人の生き方(P170～P187)		
9	4 紀行 旅の心(P190～P195)	第4回 11/27(木)	
10	1 漢文入門 漢文に親しむ(P210～P225)		
11	2 漢詩 漢詩を味わう(P228～P233)	第5回 12/4(木)	
12	3 論語 4 史話(P238～P253)		
		第6回 12/18(木)	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 作品「さくらさくら」、「とんかつ」 2. 本時の目標 本文を読解し、内容への理解を深める

メディア視聴	学習内容
1時間	1 随筆 2 小説 1 3 詩歌 4 小説 2 5 小説 3 1 古文入門 2 随筆 3 詩歌 4 物語 4 紀行 1 漢文入門 2 漢詩 3 論語

評価観点	評価基準
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識技能を身に付けることとともに、日本の言論文化に対する理解を深める
思考・判断・表現	「読み」「書き」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を身に付け、他者との関りを通して伝える力を高めることができる
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者と関わり、言葉が持つ価値への認識を深めようとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は2単位以上（メディア視聴1単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
国語	論理国語	単位数 4	高山 幸大
指導目標			
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
1, 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。			
2, 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			
3, 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書 東京書籍 論国701
面接指導	6回設定	合格時間数4時間以上 (メディア2・対面2)	副教材
報告課題 (レポート)	全12回	A3 12枚+e-ラーニング	考查範囲 報告課題1回~12回
定期考査	あり	100点法	評定 5段階評定
通年 1~24	考查日	通年前期 8/19 (火)	通年後期 1/13 (火)
回	メディア学習 (該当ページ)	報告課題 (レポート) 締切期日	面接指導 (スクーリング) 日程
1	I部1 対話とは何か(P8~P14)	第1回 5/8 (木)	前期 ・学校でのスクーリング ①標7/3 ①集7/29・8/5
2	I部1 世界をつくり替えるために(P15~P22)		
3	I部2 少女たちの「ひろしま」(P26~P36)	第2回 5/22 (木)	①標7/3 ①集7/29・8/5
4	I部2 「ふしぎ」ということ(P37~P43)		
5	I部3 学ぶことと人間の知恵(P56~P65)	第3回 6/5 (木)	新村キャンパス
6	I部3 ラップトップ抱えた「石器人」(P66~P72)		
7	I部4 思考の肺活量(P76~P82)	第4回 6/19 (木)	新村キャンパス
8	I部4 安心について(P83~P91)		
9	I部5 弱肉強食は自然の摂理か(P102~P113)	第5回 7/3 (木)	新村キャンパス
10	I部5 複数の「わたし」(P114~P121)		
11	I部6 はじめに「言葉」がある(P124~P131)	第6回 7/17 (木)	新村キャンパス
12	I部6 楽に働くこと、楽しく働くこと(P132~P137)		
13	II部1 最初のペンギン(P168~P183)	第7回 10/16 (木)	後期 ・学校でのスクーリング ②標12/4 ②集12/23・1/6
14	II部1 豊かさと生物多様性(P176~P183)		
15	II部2 物語の外から(P186~P192)	第8回 10/30 (木)	②標12/4 ②集12/23・1/6
16	II部2 カフェの開店準備(P193~P199)		
17	II部3 鏡としてのアンドロイド(P210~P218)	第9回 11/13 (木)	新村キャンパス
18	II部3 ロボットが隣人になるとき(P219~P227)		
19	II部4 言葉は「物の名前」ではない(P232~P239)	第10回 11/27 (木)	新村キャンパス
20	II部4 科学的「発見」とは(P240~P248)		
21	II部5 知識における作者性と構造的性(P262~P270)	第11回 12/4 (木)	新村キャンパス
22	II部5 もう一つの知性(P271~P279)		
23	II部6 ホンモノのおカネの作り方(P282~P290)	第12回 12/18 (木)	新村キャンパス
24	II部6 未来のあり方(P291~P301)		

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 作品「対話とは何か」「世界をつくり替えるために」 2. 本時の目標 本文を読解し、内容への理解を深める
2時間	1. 単元（題材）名 作品「最初のペンギン」「豊かさとは生物多様性」 2. 本時の目標 本文を読解し、内容への理解を深める

メディア視聴	学習内容
2時間	「少女たちのひろしま」「ふしぎということ」「学ぶことと人間の知恵」 「ラップトップ抱えた石器人」「思考の肺活量」「安心について」「弱肉強食は自然の摂理か」 「複数のわたし」「はじめに言葉がある」「楽に働くこと、楽しく働くこと」 「物語の外から」「カフェの開店準備」「親としてのアンドロイド」「ロボットが隣人になるとき」 「言葉は物の名前ではない」「科学的発見とは」「知識における作者性と構造的性」 「もう一つの知性」「ホンモノのおカネの作り方」「未来のあり方」

評価観点	評価基準
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識技能を身に付けている
思考・判断・表現	論理的、批判的に考える力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者と関わりあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり高めたりすることができる
主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、国語に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全12回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は4単位以上（メディア視聴2単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
国語	文学国語	単位数 4	高山 幸大
指導目標			
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
1, 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。			
2, 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			
3, 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書 東京書籍 文国701
面接指導	6回設定	合格時間数4時間以上(メディア2・対面2)	副教材
報告課題(レポート)	全12回	A3 12枚+e-ラーニング	考查範囲 報告課題1回~12回
定期考査	あり	100点法	評定 5段階評定
通年	1~24	考査日 通年前期 8/20(水)	通年後期 1/14(水)
回	メディア学習(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程
1	I部1 随筆(P8~P18)	第1回 5/8(木)	前期 ・学校でのスクーリング ①標7/3 ①集7/30・8/6 新村キャンパス
2	I部2 小説1(P20~P33)		
3	I部2 小説1(P34~P39)	第2回 5/22(木)	
4	I部3 評論1(P44~P55)		
5	I部4 小説2(P58~P91)	第3回 6/5(木)	
6	I部5 詩歌(P94~P113)		
7	I部6 小説3(P116~P147)	第4回 6/19(木)	
8			
9	I部7 評論2(P150~P168)	第5回 7/3(木)	
10			
11	I部8 小説4(P172~P187)	第6回 7/17(木)	
12			
13	II部1 随筆1(P190~P204)	第7回 10/16(木)	後期 ・学校でのスクーリング ②標12/4 ②集12/24・1/7 新村キャンパス
14	II部2 小説1(P206~P216)		
15	II部2 小説1(P217~P222)	第8回 10/30(木)	
16	II部3 詩歌(P226~P244)		
17	II部4 随筆2(P248~P264)	第9回 11/13(木)	
18	II部5 戯曲(P266~P289)		
19	II部6 小説2(P292~P327)	第10回 11/27(木)	
20			
21	II部7 評論(P330~P344)	第11回 12/4(木)	
22			
23	II部8 小説3(P348~P371)	第12回 12/18(木)	
24			

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 作品「光の窓」「雨月物語」 2. 本時の目標 本文を読解し、内容への理解を深める
2時間	1. 単元（題材）名 作品「山月記」「窓」 2. 本時の目標 本文を読解し、内容への理解を深める

メディア視聴	学習内容
2時間	「光の窓」「雨月物語」「山月記」「窓」「言葉を生きる」「詩と感情表現」「山椒魚」 「沖縄の手記から」「鉄」「竹」「永訣の朝」 「硝子の駒」「モードの変遷」「こころ」「文学のふるさと」「文学の未来」「鞆」「あの朝」 「国語から旅立って」「書かれた風景の中へ」「檸檬」「コンビニの母」「夏の姿」「帰途」 「小諸なる古城のほitori」「金剛の露」「平気」「空っぽの瓶」「クレールという女」「父と暮らせば」 「舞姫」「演技する「私」」「映画の可能性のために」「葉桜と魔笛」「蠅」

評価観点	評価基準
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識技能を身に付けている
思考・判断・表現	他者に対して共感的に捉える力を伸ばし、創造的に考える力を養う。また、他者に効果的に自分の思いや考えを広げたり高めたりすることができる
主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、国語に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全12回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は4単位以上（メディア視聴2単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
国語	古典探究	単位数 4	高山 幸大
指導目標			
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
1、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。			
2、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方の関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			
3、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書 東京書籍 古探701
面接指導	6回設定	合格時間数4時間以上(メディア2・対面2)	副教材
報告課題(レポート)	全12回	A3 12枚+e-ラーニング	考查範囲 報告課題1回～12回
定期考査	あり	100点法	評定 5段階評定
通年	1～24	考査日 通年前期 8/21(木)	通年後期 1/13(火)
回	メディア学習(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程
1	I部古文編1 説話に親しむ(P10～P18)	第1回 5/8(木)	前期 ・学校でのスクーリング
2	I部古文編2 随筆を読む(P20～P30)		
3	I部漢文編1 故事と小話(P158～P163)	第2回 5/22(木)	①標5/22 ①集7/29・8/5
4	I部漢文編2 唐詩と文(P166～P180)		
5	I部古文編3 作り物語を読む(P32～P37)	第3回 6/5(木)	新村キャンパス
6	I部古文編4 和歌の世界(P40～P50)		
7	I部漢文編3 史記を読む(P182～P194)	第4回 6/19(木)	
8	I部漢文編4 中国の知恵(P198～P206)		
9	I部古文編5 日記を読む(P54～P63)	第5回 7/3(木)	
10	I部古文編6 軍記物語を味わう(P66～P72)		
11	I部古文編7 近世文学の世界(P76～P82)	第6回 7/17(木)	
12	I部漢文編5 三国志の世界(P208～P216)		
13	II部古文編1 随筆を味わう(P86～P90)	第7回 10/16(木)	後期 ・学校でのスクーリング
14	II部古文編2 歌物語を楽しむ(P94～P105)		
15	II部漢文編1 小話を読む(P220～P226)	第8回 10/30(木)	②標10/30 ②集12/13・1/6
16	II部漢文編2 古詩を味わう(P228～P239)		
17	II部古文編3 歴史物語を読む(P108～P114)	第9回 11/13(木)	新村キャンパス
18	II部古文編4 歌話・歌論を読む(P118～P124)		
19	II部漢文編3 史記を味わう(P242～P248)	第10回 11/27(木)	
20	II部漢文編4 中国の思想(P250～P259)		
21	II部古文編5 つくり物語を味わう(P126～P135)	第11回 12/4(木)	
22	II部古文編6 俳諧に親しむ(P140～P148)		
23	II部古文編7 伝承の世界(P150～P157)	第12回 12/18(木)	
24	II部漢文編5 日本の漢詩文(P262～P270)		

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 作品「小野篁・広才のこと」、「大江山の歌」、「花は盛りに」 2. 本時の目標 古文の表現に触れ、文法や古文独特の語句の知識を身に付ける。本文を理解し、内容を理解する。
2時間	1. 単元（題材）名 作品「蛇足」・唐詩・作品「雑説」 2. 本時の目標 漢文の表現に触れ、漢文独特の語句の知識を身に付ける。本文を理解し、内容を理解する。

メディア視聴	学習内容
2時間	古文「説話に親しむ」「随筆を読む」 漢文「故事と小話」「唐詩と文」 古文「作り物語を読む」「和歌の世界」 漢文「史記を読む」「中国の知恵」 古文「日記を読む」「軍記物語を味わう」「近世文学の世界」 漢文「三国志の世界」 古文「随筆を味わう」「歌物語を楽しむ」 漢文「小話を読む」「古詩を味わう」 古文「歴史物語を読む」「歌話・歌論を読む」 漢文「史記を味わう」「中国の思想」 古文「つくり物語を味わう」「俳諧に親しむ」「伝承の世界」 漢文「日本の漢詩文」

評価観点	評価基準
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識技能を身に付けているとともに、日本の言論文化に対する理解を深める
思考・判断・表現	古典を通して先人のものの見方・考え方・感じ方について自分の思いや考えを広げて深めることができる。
主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、国語に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全12回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は4単位以上（メディア視聴2単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目			担当者
地理歴史	地理総合		単位数 2	丸山 洋史
指導目標				
1, 生活文化の多様性や地球的課題への取り組みを理解し、地理情報システムなどを用いて地理的技能を身につける。				
2, 地理に関わる事象を多面的・多角的に考察し、地理的な課題の解決に向けて議論する力を養う。				
3, 我が国の国土に対する意識を高め、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚を高める。				
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍 地総701
面接指導	6回設定	合格時間数2時間以上(メディア1・対面1)	副教材	
報告課題(レポート)	全6回	A3 6枚+e-ラーニング	考查範囲	報告課題1回～6回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定
前期	1～12	後期	1～12	考査日 前期 8/19(火) 後期 1/14(水)
回	メディア学習(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程	
1	1編第1章 私たちが暮らす世界(P.5～)	第1回 5/8(木)	前期 ・学校でのスクーリング ①標5/8 ①集7/31・8/7	
2	第2章 地図や地図情報システムの役割(～P.36)			
3	第3章 資料から読み取る現代世界(P.37～)			
4	2編第1章1節 生活文化の多様性と国際理解(P.67)	第2回 5/22(木)	新村キャンパス	
5	2編第1章2節 生活文化と自然環境①地形(P.68～)			
6	2編第1章3節 生活文化と自然環境②気候(～P.91)	第3回 6/5(木)		
7	2編第1章4節 生活文化と産業(P.92～)			
8	第2章12節 地球環境問題・資源エネルギー問題(～P.135)	第4回 6/19(木)		
9	第2章345節 人口問題・食糧問題・居住都市問題(P.136～)			
10	第2章67節 民族問題・持続可能な社会(～P.172)	第5回 7/3(木)		
11	3編第1章 自然環境と防災(P.173～)			
12	第2章 生活圏の調査と地域の展望(～P.217)	第6回 7/17(木)		
1	1編第1章 私たちが暮らす世界(P.5～)	第1回 10/16(木)	後期 ・学校でのスクーリング ①標10/16 ①集12/15・1/8	
2	第2章 地図や地図情報システムの役割(～P.36)			
3	第3章 資料から読み取る現代世界(P.37～)			
4	2編第1章1節 生活文化の多様性と国際理解(P.67)	第2回 10/30(木)	新村キャンパス	
5	2編第1章2節 生活文化と自然環境①地形(P.68～)			
6	2編第1章3節 生活文化と自然環境②気候(～P.91)	第3回 11/13(木)		
7	2編第1章4節 生活文化と産業(P.92～)			
8	第2章12節 地球環境問題・資源エネルギー問題(～P.135)	第4回 11/27(木)		
9	第2章345節 人口問題・食糧問題・居住都市問題(P.136～)			
10	第2章67節 民族問題・持続可能な社会(～P.172)	第5回 12/4(木)		
11	3編第1章 自然環境と防災(P.173～)			
12	第2章 生活圏の調査と地域の展望(～P.217)	第6回 12/18(木)		

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 生活文化の多様性と国際理解・地域環境 2. 本時の目標 人文地理の視点を身につける

メディア視聴	学習内容
1時間	私たちが暮らす世界と地図や地図情報システムの役割 資料から読み取る現代世界 生活文化と自然環境①② 生活文化と産業と地球環境問題資源エネルギー問題 人口問題食糧問題居住都市問題 民族問題持続可能な社会 自然環境と防災と生活圏の調査と地域の展望

評価観点	評価基準
知識・技能	地図や地理情報システムを考察し、活用に必要な技能を身に付けている
思考・判断・表現	世界の人々の生活文化の多様性を知ること、自他の文化を尊重し国際理解を図ることができる。 世界や日本が抱える地理的な諸課題の解決や未来について考え、表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	地理的・歴史的な知識を身に付け、現代的な諸課題に結び付けながら自分自身の課題意識として認識し、主体的に探究している

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は2単位以上（メディア視聴1単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
地理歴史	歴史総合	単位数 2	丸山 洋史
指導目標			
1, 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を設定したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会で主体的に生きる力を養う。			
2, 平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。			
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書 東京書籍 歴総701
面接指導	6回設定	合格時間数2時間以上(メディア1・対面1)	副教材
報告課題(レポート)	全6回	A3 6枚+e-ラーニング	考查範囲 報告課題1回～6回
定期考査	あり	100点法	評定 5段階評定
前期	1～12	後期	1～12
考査日	前期	8/21(木)	後期
考査日	後期	1/13(火)	
回	メディア学習(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程
1	第1章 歴史の扉(P.7～)	第1回 5/8(木)	前期 ・学校でのスクーリング ①標5/22 ①集7/29・8/5
2	第2章12節 近代化への問い・結びつく世界と日本の開国(～P.51)		
3	3節 国民国家と明治維新(P.52～)	第2回 5/22(木)	新村キャンパス (一部本校)
4	4節 近代化と現代的な諸課題(～P.83)		
5	第3章1節 国際秩序の変化や大衆化への問い(P.84～)	第3回 6/5(木)	新村キャンパス (一部本校)
6	2節 第一次世界大戦と大衆社会(～P.111)		
7	3節 経済危機と第二次世界大戦(P.112～)	第4回 6/19(木)	新村キャンパス (一部本校)
8	4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題(～P.141)		
9	第4章1節 グローバル化への問い(P.142～)	第5回 7/3(木)	新村キャンパス (一部本校)
10	2節 冷戦と世界経済(～P.169)		
11	3節 世界秩序の変容と日本(P.170～)	第6回 7/17(木)	新村キャンパス (一部本校)
12	4節 現代的な諸課題の形成と展望(～P.197)		
1	第1章 歴史の扉(P.7～)	第1回 10/16(木)	後期 ・学校でのスクーリング ①標10/30 ①集12/23・1/6
2	第2章12節 近代化への問い・結びつく世界と日本の開国(～P.51)		
3	3節 国民国家と明治維新(P.52～)	第2回 10/30(木)	新村キャンパス (一部本校)
4	4節 近代化と現代的な諸課題(～P.83)		
5	第3章1節 国際秩序の変化や大衆化への問い(P.84～)	第3回 11/13(木)	新村キャンパス (一部本校)
6	2節 第一次世界大戦と大衆社会(～P.111)		
7	3節 経済危機と第二次世界大戦(P.112～)	第4回 11/27(木)	新村キャンパス (一部本校)
8	4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題(～P.141)		
9	第4章1節 グローバル化への問い(P.142～)	第5回 12/4(木)	新村キャンパス (一部本校)
10	2節 冷戦と世界経済(～P.169)		
11	3節 世界秩序の変容と日本(P.170～)	第6回 12/18(木)	新村キャンパス (一部本校)
12	4節 現代的な諸課題の形成と展望(～P.197)		

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 歴史への扉・近代化への問い・結びつく世界と日本の鎖国 2. 本時の目標 現代日本と世界と日本の近代史との連関を把握する

メディア視聴	学習内容
1時間	国民国家と明治維新 近代化と現代的な諸課題 国際秩序の変化や大衆化への問い 第一次世界大戦と大衆社会 経済危機と第二次世界大戦 国際秩序の変化や大衆化や現代的な諸課題 グローバル化への問い 冷戦と世界経済 世界秩序の変容と日本 現代的な諸課題の形成と展望

評価観点	評価基準
知識・技能	文書・図表などの諸資料を活用して情報を読み取ることができ、日本と世界の歴史を理解する
思考・判断・表現	諸資料を活用し、課題を探究しながら歴史の変化や日本を含む世界の歴史の関連性について考察し、表現することができる
主体的に学習に取り組む態度	歴史的知識を理解し、現代的な諸課題に結び付けながら自分自身の課題として意識し、主体的に探究し続けることができる。

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は2単位以上（メディア視聴1単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目			担当者
地理歴史	日本史探究		単位数 3	百瀬 重成
指導目標				
1, 我が国の歴史の展開について総合的な理解を深め、各時代の展開に関わる概念等を活用して多面的に考察する。				
2, 歴史事象に見られる課題を把握し、世界の歴史の関わりを踏まえ、現代の日本の諸課題を探究する。				
3, 地域の課題を歴史的視座から多面的に捉える力を養い、未来を展望する力を高める。				
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍 日探701
面接指導	6回設定	合格時間数3時間以上(メディア1・対面2)	副教材	
報告課題(レポート)	全9回	A3 9枚+e-ラーニング	考查範囲	報告課題1回～9回
定期考查	あり	100点法	評定	5段階評定
通年	1～18	考查日	通年前期 8/20(水)	通年後期 1/14(水)
回	メディア学習(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程	
1	「先史の生活文化」～「飛鳥朝廷と文化」 (P7～33)	第1回 5/8(木)	前期 ・学校でのスクーリング ①標5/22 ①集7/31・8/7 新村キャンパス	
2				
3	「律令国家の形成」～「長期留学の経験をいかした二人の若者」(P34～64)	第2回 5/22(木)		
4				
5	「朝廷政治の変容」～「全国に展開する御家人の所領」(P65～97)	第3回 6/5(木)		
6				
7	「南北朝の動乱と室町幕府の成立」～「中国滞在を経て自信を強めた禅僧画家雪舟」(P98～122)	第4回 10/16(木)	後期 ・学校でのスクーリング ②標10/30 ②集12/25・1/8 新村キャンパス	
8				
9	「地球的世界の形成と日本」～「江戸幕府と大名・朝廷」(P123～144)	第5回 10/30(木)		
10				
11	「近世の身分と人々の暮らし」～「ロシアと単独交渉 高田屋嘉兵衛」(P145～186)	第6回 11/13(木)		
12				
13	「開国と開港」～「政府専制への批判」(P187～217)	第7回 11/27(木)		
14				
15	「立憲政治の成立」～「沖縄戦」(P218～269)	第8回 12/4(木)		
16				
17	「占領と日本国憲法の成立」～「歴史のなかの男性と女性」(P270～321)	第9回 12/18(木)		
18				

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 先史の生活文化～飛鳥朝廷と文化 2. 本時の目標 現代日本と古代との連関を把握する
2時間	1. 単元（題材）名 南北朝の動乱と室町幕府の成立 2. 本時の目標 現代日本と中世との連関を把握する

メディア視聴	学習内容
1時間	律令国家の形成～長期留学の経験を生かした二人の若者 朝廷政治の変容～全国に展開する御家人の所領 地球的世界の形成と日本～江戸幕府と大名・朝廷 近世の身分と人々の暮らし～ロシアと淡道国生 高田屋嘉兵衛 開国と開港～政府専制への批判 立憲政治の成立～沖縄戦 占領と日本国憲法の成立～歴史のなかの男性と女性

評価観点	評価基準
知識・技能	遺物・文書などから情報を読み取り、日本の歴史を構造的にとらえることができる
思考・判断・表現	各時代の社会の展開についてその意義を理解し、それぞれの特徴を把握できている。 様々な資料を用いて過去と現在を比較し、どのような違いがあるかを考察できる
主体的に学習に取り組む態度	資料を読み取り、現代社会との関連を自ら発見しようと取り組むことができる。

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全9回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は3単位以上（メディア視聴1単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
地理歴史	日本史総論	単位数 3	百瀬 重成
指導目標			
1, 我が国の文化をとらえ直し、多面的な視点を養う。			
2, 日本の伝統を見つめ直し、その歴史的価値を再確認する。			
3, 日本の文化を学ぶことで、自己の生き方をさらに豊かなものとしていく。			
メディア学習	なし	教科書	東京書籍 日探701
面接指導	9回設定	合格時間数3時間以上(対面3)	副教材
報告課題(レポート)	全9回	A3 9枚	考查範囲 報告課題1回～9回
定期考査	あり	100点法	評定 5段階評定
通年 1～9	考査日	通年前期 8/19(火)	通年後期 1/13(火)
回	学習内容(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程
1	飛鳥文化・白鳳文化 仏像・建築物など (P32～33, P36～37)	第1回 5/8(木)	前期 ・学校でのスクーリング ①標6/19 ①集7/29・8/5 新村キャンパス
2	天平文化・弘仁貞観期の文化・仏像・建築物など (P46～49, P52～54)	第2回 5/22(木)	
3	国風文化・院政期の文化 文学・仏教思想など (P60～64, P72～73)	第3回 6/5(木)	
4	鎌倉文化 鎌倉仏教・建築など(P94～96)	第4回 10/16(木)	後期 ・学校でのスクーリング ②標10/30 ③標11/27 ②集12/23・1/6 ③集12/25・1/8 新村キャンパス
5	室町文化 建築・芸能など(P116～120)	第5回 10/30(木)	
6	桃山文化、寛永期の文化、元禄文化 (P132～133, P144, P163～164)	第6回 11/13(木)	
7	元禄文化、宝暦・天明期の文化 (P164～165, P170～173)	第7回 11/27(木)	
8	化政文化、近代の文化 (P177～179, P230～233)	第8回 12/4(木)	
9	近代の文化 思想・文学(P242～244, P278～279, P288～289, P298, P306)	第9回 12/18(木)	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 飛鳥文化・白鳳文化 仏像・建築物 2. 本時の目標 古代日本の文化を多角的な視点から考察する
2時間	1. 単元（題材）名 鎌倉文化・鎌倉仏教 建築 2. 本時の目標 中世日本の文化を多角的な視点から考察する
3時間	1. 単元（題材）名 元禄文化・宝暦・天明期の文化 2. 本時の目標 近世日本の文化を多角的な視点から考察する

評価観点	評価基準
知識・技能	遺物・文書などから情報を読み取り、日本の文化を構造的にとらえることができる
思考・判断・表現	各時代の文化の展開についてその意義を理解し、それぞれの特徴を把握できている。 様々な資料を用いて過去と現在を比較し、どのような違いがあるかを考察できる
主体的に学習に取り組む態度	資料を読み取り、現代文化との関連を自ら発見しようと取り組むことができる。

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全9回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は3単位以上出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目	担当者
地理歴史	世界史探究	丸山 洋史
	単位数 3	

指導目標

- 1, 「歴史総合」で学習した知識を基に、古代から近世にかけての社会的事象に関する見方・考え方を養う。
- 2, 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、日本と関連付けながら理解する。
- 3, 地球社会の課題と展望を探究する力を養う。

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍 世探701
面接指導	6回設定	合格時間数3時間以上 (メディア1・対面2)	副教材	
報告課題 (レポート)	全9回	A3 9枚 + e-ラーニング	考查範囲	報告課題1回～9回
定期考查	あり	100点法	評定	5段階評定

通年 1～18

考查日 通年前期 8/20 (水)

通年後期 1/14 (水)

回	メディア学習 (該当ページ)	報告課題 (レポート) 締切期日	面接指導 (スクーリング) 日程
1	序章 世界史へのまなざし 1編第1章 古代文明の出現 (P.7～)	第1回 5/8 (木)	前期 ・学校でのスクーリング ①標5/22 ①集7/31・8/7
2	第2章 西アジアと地中海周辺 (～P.64)		
3	第3章南アジア・第4章東南アジア (P.65～)		
4	第5章 東アジアと中央ユーラシア (～P.99)	第2回 5/22 (木)	新村キャンパス
5	第6章アフリカ・オセアニア・古アメリカ 第2編第7章 イスラム世界 (P.100～)	第3回 6/5 (木)	
6	第8章中世ヨーロッパ・第9章中華世界の変容とモンゴル帝国 (～P.159)		
7	第10章 インド洋海域世界の発展と東南アジア (P.160～)	第4回 10/16 (木)	
8	第11章 大交易時代と世界の一体化 (～P.185)	第5回 10/30 (木)	
9	第12章 ユーラシア諸帝国の繁栄 (P.186～)		第6回 11/13 (木)
10	第13章 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大 (～P.224)		
11	3編第14章 国民国家と近代社会の形成 (P.225～258)	第7回 11/27 (木)	
12	第15章 世界市場の形成とアジア諸国の変容 (P.259～)		
13	第16章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割 (～P.297)	第8回 12/4 (木)	
14	第17章 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容 (P.298～)		
15	第18章 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦 (～P.336)	第9回 12/18 (木)	
16	第19章 第二次世界大戦と戦後の東アジア (P.337～)		
17	4編 グローバル化と地球的課題 (～P.389)		
18			

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 世界史へのまなざし～西アジアと地中海世界 2. 本時の目標 文明のはじまりと古代文明を理解する
2時間	1. 単元（題材）名 インド洋海域世界の発展と東南アジア～大交易時代と世界の一体化 2. 本時の目標 近世世界と現代との連関を考察する

メディア視聴	学習内容
1時間	南アジア・東南アジア 東アジアと中央ユーラシア アフリカ・オセアニア・古アメリカ イスラーム世界 中世ヨーロッパ・中華世界の変容とモンゴル帝国 ユーラシア諸帝国の繁栄 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大 国民国家と近代社会の形成 世界市場の形成とアジア諸国の変容 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦 第二次世界大戦と戦後の東アジア グローバル化と地球的課題

評価観点	評価基準
知識・技能	文書・図番などから情報を読み取り、世界の諸地域の歴史を構造的にとらえることができる
思考・判断・表現	各時代の社会の展開についてその意義を理解し、それぞれの特徴を把握できている。 様々な資料を用いて過去と現在を比較し、どのような違いがあるかを考察できる
主体的に学習に取り組む態度	資料を読み取り、現代社会との関連を自ら発見しようと取り組むことができる。

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全9回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は3単位以上（メディア視聴1単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目			担当者
地理歴史	世界史総論		単位数 3	丸山 洋史
指導目標				
1, 世界の歴史の展開について総合的な理解を深め、各時代の展開に関わる概念等を活用して多面的に考察する。				
2, 歴史事象に見られる課題を把握し、主に社会・文化に着目しながら、現代社会の諸課題を探究する。				
3, 社会課題を主に人々の視点から多面的に捉える力を養い、未来を展望する力を高める。				
メディア学習	なし		教科書	東京書籍 世探701
面接指導	9回設定	合格時間数3時間以上(対面3)	副教材	
報告課題(レポート)	全9回	A3 9枚	考查範囲	報告課題1回～9回
定期考查	あり	100点法	評定	5段階評定
通年 1～9		考查日 通年前期 8/19(火)		通年後期 1/13(火)
回	学習内容(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程	
1	文明の成立と古代文明の特質(P.23～29)	第1回 5/8(木)	前期 ・学校でのスクーリング ①標6/19 ①集7/29・8/5 新村キャンパス	
2	地中海世界の古典文明(P.42,43,P.48,49)	第2回 5/22(木)		
3	南アジアと東アジアの古代文化(P.69,70,P.85～87,P.91)	第3回 6/5(木)		
4	イスラーム文明(P.118～121)	第4回 10/16(木)	後期 ・学校でのスクーリング ②標10/30 ③標11/27 ②集12/23・1/6 ③集12/25・1/8 新村キャンパス	
5	中世西ヨーロッパの社会と文化(P.132～136)	第5回 10/30(木)		
6	ルネサンス(P.141～143)	第6回 11/13(木)		
7	近世ヨーロッパの社会と文化(P.221～224)	第7回 11/27(木)		
8	帝国主義と工業化・科学技術の大変貌(P.273,P.277～278)	第8回 12/4(木)		
9	21世紀の地球的課題(P.379～382)	第9回 12/18(木)		

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 文明の成立と古代文明の特質 2. 本時の目標 古代文明を多角的な視点から考察する
2時間	1. 単元（題材）名 イスラーム文明 2. 本時の目標 イスラーム世界の文化を多角的な視点から考察する
3時間	1. 単元（題材）名 ルネサンス 2. 本時の目標 近世西欧の文化を多角的な視点から考察する

評価観点	評価基準
知識・技能	遺物・文書などから情報を読み取り、世界の文化を構造的にとらえることができる
思考・判断・表現	各時代の文化の展開についてその意義を理解し、それぞれの特徴を把握できている。 様々な資料を用いて過去と現在を比較し、どのような違いがあるかを考察できる
主体的に学習に取り組む態度	資料を読み取り、現代世界の文化との関連を自ら発見しようと取り組むことができる。

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全9回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は3単位以上出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
公民	公共	単位数 2	丸山 洋史

指導目標

- 1, 諸資料から、倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を養う。
- 2, 選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的に考察し、公正に判断する力を養う。
- 3, 限段社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公民としての自覚を深める。

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍 公共701
面接指導	6回設定	合格時間数2時間以上 (メディア1・対面1)	副教材	
報告課題 (レポート)	全6回	A3 6枚+e-ラーニング	考查範囲	報告課題1回～6回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定

前期 1～12 後期 1～12 考査日 前期 8/19 (火) 後期 1/13 (火)

回	メディア学習 (該当ページ)	報告課題 (レポート) 締切期日	面接指導 (スクーリング) 日程	
1	1章 公共的な空間をつくる私たち (P.7～)	第1回 5/8 (木)	前期 ・学校でのスクーリング ①標5/8 ①集7/29・8/5	
2	2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方 (～P.35)			
3	3章 公共的な空間における基本的原理 (P.36～)			
4	1章 民主政治と私たち (～P.83)	第2回 5/22 (木)	新村キャンパス	
5	2章 法の働きと私たち (P.84～)			
6	2章 法の働きと私たち (～P.111)	第3回 6/5 (木)		
7	3章 経済社会で生きる私たち (P.112～)			
8	3章 経済社会で生きる私たち (～P.145)	第4回 6/19 (木)		
9	4章 私たちの職業生活 (P.146～)			
10	5章 国際社会のなかで生きる私たち 1・2 (～P.173)	第5回 7/3 (木)		
11	5章 国際社会のなかで生きる私たち 3・4 (P.174～)			
12	第3部 持続可能な社会づくりに参画するために (～P.212)			
1	1章 公共的な空間をつくる私たち (P.7～)	第1回 10/16 (木)		後期 ・学校でのスクーリング ①標10/16 ①集12/23・1/6
2	2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方 (～P.35)			
3	3章 公共的な空間における基本的原理 (P.36～)			
4	1章 民主政治と私たち (～P.83)	第2回 10/30 (木)	新村キャンパス	
5	2章 法の働きと私たち (P.84～)			
6	2章 法の働きと私たち (～P.111)	第3回 11/13 (木)		
7	3章 経済社会で生きる私たち (P.112～)			
8	3章 経済社会で生きる私たち (～P.145)	第4回 11/27 (木)		
9	4章 私たちの職業生活 (P.146～)			
10	5章 国際社会のなかで生きる私たち 1・2 (～P.173)	第5回 12/4 (木)		
11	5章 国際社会のなかで生きる私たち 3・4 (P.174～)			
12	第3部 持続可能な社会づくりに参画するために (～P.212)			
		第6回 12/18 (木)		

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 公共的な空間をつくる私たち・公共的な空間における人間としての在り方生き方 2. 本時の目標 社会における公共性の課題と意義を理解する。

メディア視聴	学習内容
1時間	公共的な空間における基本的原理 民主政治と私たち 法の働きと私たち 経済社会で生きる私たち 私たちの職業生活 国際社会のなかで生きる私たち 持続可能な社会づくりに参画するために

評価観点	評価基準
知識・技能	現代の諸課題を捉え考察し、的確な判断・選択をするための概念や理論を理解している
思考・判断・表現	社会の諸課題の解決に向けて、的確な判断・選択をするための手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用し、事実を基に多角的な視点で考察できる
主体的に学習に取り組む態度	公共的な空間に生き、国民主権を担う公民として、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている 粘り強く志向し、課題解決に取り組もうとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は2単位以上（メディア視聴1単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
公民	政治・経済	単位数 2	丸山 洋史

指導目標

- 1, 現実社会の諸事象に関する学習活動を通して、社会の在り方についての見方・考え方を働かせる。
- 2, 現代の諸課題を探究したり解決に向けて構想したりする活動を行う。
- 3, グローバル化する国際社会の中で主体的に生きる公民としての資質・能力を涵養する。

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍 政経701
面接指導	3回設定	合格時間数2時間以上(メディア1・対面1)	副教材	
報告課題(レポート)	全6回	A3 6枚+e-ラーニング	考查範囲	報告課題1回～6回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定

前期 1～12

考査日 前期 8/19(火)

回	メディア学習(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程
1	1編第1章第1節 民主政治の基本原則(P.4～)	第1回 5/8(木)	前期 ・学校でのスクーリング ①標5/22 ①集7/29・8/5 新村キャンパス
2	2節 日本国憲法の基本原則(～P.47)		
3	3節 日本の政治機構(P.48～)	第2回 5/22(木)	
4	4節 現代政治の特質と課題(～P.79)		
5	第2章第1節 現代の資本主義経済(P.80～)	第3回 6/5(木)	
6	2節 現代経済のしくみ(～P.118)		
7	3節 日本経済の発展と現状(P.119～)	第4回 6/19(木)	
8	4節 福祉社会と日本経済の課題(～P.155)		
9	第3章 現代日本の諸課題(P.156～)	第5回 7/3(木)	
10	2編第1章 現代の国際政治(～P.203)		
11	第2章 現代の国際経済(P.204～)	第6回 7/17(木)	
12	第3章 国際社会の諸課題(～P.254)		

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 民主政治の基本原理・日本国憲法の基本原理 2. 本時の目標 民主主義の課題と意義を理解する。憲法の基本理念を理解する。

メディア視聴	学習内容
1時間	日本の政治機構・現代政治の特質と課題 現代の資本主義経済・現代経済のしくみ 日本経済の発展と現状・福祉社会と日本経済の課題 現代日本の諸課題・現代の国際政治 現代の国際経済・国際社会の諸課題

評価観点	評価基準
知識・技能	法律や政治体制など社会における基本的な知識を身に付け、生活に関連付けて理解できている
思考・判断・表現	現代における政治・経済の課題について広い視野で俯瞰できる力を身に付ける。 民主主義の本質を捉え、現代における様々な課題を公民として考える。
主体的に学習に取り組む態度	生活の中で、法や政治経済などの変化や社会情勢に対して積極的に関わろうとしている。

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は2単位以上（メディア視聴1単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
数学	数学Ⅰ	単位数 3	横内 克彦

指導目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成する。

- 1, 各章の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に解釈したりする力を養う。
- 2, 数や式を多面的にみたり、目的に応じて適切に変形する力、図形の性質などについて論理的に考察する力を養う。
- 3, 数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題を解決したり、解決の過程や結果を考察し判断したりする力を養う。

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍 数Ⅰ704
面接指導	6回設定	合格時間数3時間以上(メディア1・対面2)	副教材	
報告課題(レポート)	全9回	A4 4枚+e-ラーニング	考查範囲	報告課題1回～9回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定

通年 1～9

考査日 通年前期 8/19(火)

通年後期 1/13(火)

回	メディア学習(該当ページ)	報告課題(レポート) 締切期日	面接指導(スクーリング) 日程
1	1節 文字と式 (p.32～p.47)	第1回 5/8(木) No,1(1)～(4)	前期 ・学校でのスクーリング ①標5/22 ①集7/29・8/5 新村キャンパス
2	2節 実数 (p.48～p.57)	第2回 5/22(木) No,2(1)～(4)	
3	3節 方程式と不等式 (p.58～p.71)	第3回 6/5(木) No,3(1)～(4)	
4	1節 二次関数とそのグラフ (p.74～p.91)	第4回 10/16(木) No,4(1)～(4)	
5	2節 二次関数の値の変化 (p.92～p.101)	第5回 10/30(木) No,5(1)～(4)	
6	1節 鋭角の三角比 (p.104～p.116)	第6回 11/13(木) No,6(1)～(4)	
7	2節 三角比の応用 (p.117～p.127)	第7回 11/27(木) No,7(1)～(4)	後期 ・学校でのスクーリング ②標10/30 ②集12/23・1/6 新村キャンパス
8	1節 データの分析 (p.130～p.147)	第8回 12/4(木) No,8(1)～(4)	
9	1節 集合と論証 (p.150～p.160)	第9回 12/18(木) No,9(1)～(4)	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 2次関数の最大値・最小値 2. 本時の目標 2次関数の最大値・最小値についてグラフを利用して理解する
2時間	1. 単元（題材）名 三角比と応用 2. 本時の目標 三角比について理解する

メディア視聴	学習内容
1時間	文字と式 実数 方程式と不等式 二次関数の値の変化 鋭角の三角比 データの分析 集合と論証

評価観点	評価基準
知識・技能	数学における基本的な概念や原理・原則を理解するとともに、日常生活と関連させて考える 技能が身についている
思考・判断・表現	様々な事象を数理的に捉え、数学的な推論によって問題を解決し、解決の過程を振り返って発展的に考えている
主体的に学習に取り組む態度	数学を学ぶ楽しさを感じ、粘り強く考え、数学と日常生活での事象と繋げて深めようとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全9回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は3単位以上（メディア視聴1単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
数学	数学Ⅱ	単位数 4	横内 克彦

指導目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成する。

- 1, 各章の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に解釈したりする力を養う。
- 2, 等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考える力、方程式を用いて図形を表現するなどを養う。
- 3, 数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題を解決したり、解決の過程や結果を考察し判断したりする力を養う。

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍 数Ⅱ717
面接指導	6回設定	合格時間数4時間以上(メディア2・対面2)	副教材	
報告課題(レポート)	全12回	A4 4枚~7枚+e-ラーニング	考查範囲	報告課題1回~12回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定

通年 1~14

考査日 通年前期 8/19(火)

通年後期 1/13(火)

回	メディア学習(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程
1	1節 式の計算 (P4~P11)	第1回 5/8(木) NO,1(1)~(4)	前期 ・学校でのスクーリング ①標6/19 ①集7/29・8/5 新村キャンパス
2	2節 2次方程式 (P12~P19)	第2回 5/22(木) NO,2(1)~(4)	
3	3節 高次方程式 (P20~P27)	第3回 6/5(木) NO,3(1)~(4)	
4	4節 式と証明 (P28~P31)		
5	1節 座標と直線の方程式 (P34~P51)	第4回 6/19(木) NO,4(1)~(4)	
6	2節 円の方程式 (P52~P56)	第5回 7/3(木) NO,5(1)~(6)	
7	3節 軌跡と領域 (P57~P63)		
8	1節 三角関数 (P66~P77)	第6回 7/17(木) NO,6(1)~(4)	
9	2節 加法定理 (P78~P83)	第7回 10/16(木) NO,7(1)~(6)	後期 ・学校でのスクーリング ②標11/27 ②集/12/23・1/6 新村キャンパス
10	1節 指数関数 (P86~P95)	第8回 10/30(木) NO,8(1)~(5)	
11	2節 対数関数 (P96~P103)	第9回 11/13(木) NO,9(1)~(5)	
12	1節 微分係数と導関数 (P106~P115)	第10回 11/27(木) NO,10(1)~(5)	
13	2節 導関数の応用 (P116~P123)	第11回 12/4(木) NO,11(1)~(7)	
14	3節 積分 (P124~P133)	第12回 12/18(木) NO,12(1)~(5)	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 2次方程式 2. 本時の目標 2次方程式の解法を修得する
2時間	1. 単元（題材）名 加法定理 2. 本時の目標 加法定理の応用を理解する

メディア視聴	学習内容
1時間	式の計算 高次方程式 式と証明 座標と直線の方程式 円の方程式 軌跡と領域 三角関数 指数関数 対数関数 微分係数と導関数 導関数の応用 積分

評価観点	評価基準
知識・技能	計算方法について理解を深め、数学的な思考方法を身に付けている
思考・判断・表現	数学的な問題の本質を理解し、表現することができる。 問題の解決に至る過程を振り返り、事象の関連性について理解できている
主体的に学習に取り組む態度	数学を学ぶ楽しさを感じ、粘り強く考え、数学と日常生活での事象と繋げて深めようとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全12回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は4単位以上（メディア視聴2単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
数学	数学A	単位数 2	横内 克彦
指導目標			
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成する。</p> <p>1, 各章の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に解釈したりする力を養う。</p> <p>2, 図形の性質を見出し、論理的に考察する力、数学的に処理する力を身につける。</p> <p>3, 数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題を解決したり、解決の過程や結果を考察し判断したりする力を養う。</p>			
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書 東京書籍 数A704
面接指導	3回設定	合格時間数2時間以上(メディア1・対面1)	副教材
報告課題(レポート)	全6回	A4 4枚~8枚+e-ラーニング	考查範囲 報告課題1回~6回
定期考査	あり	100点法	評定 5段階評定

前期 1~9 考査日 前期 8/19(火)

回	メディア学習(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程
1	1節 場合の数 (P4~P21)	第1回 5/8(木) NO,1(1)~(4)	前期 ・学校でのスクーリング ①標6/5 ①集7/29・8/5 新村キャンパス
2	2節 確率 (P22~P37)	第2回 5/22(木) NO,2(1)~(4) NO,3(1)~(4)	
3	1節 平面図形の基礎 (P40~P49)	第3回 6/5(木) NO,4(1)~(4) NO,5(1)~(4)	
4	2節 平面図形の基礎 (P50~P57)		
5	3節 円の性質 (P58~P75)	第4回 6/19(木) NO,6(1)~(4)	
6	1節 数や位置を表す (P78~P85)	第5回 7/3(木) NO,7(1)~(4)	
7	2節 数の作りを調べる (P86~P91)		
8	3節 はかる (P92~P97)	第6回 7/17(木) NO,8(1)~(4)	
9	4節 数学で遊ぶ (P98~P108)		

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 平面図形の基礎 2. 本時の目標 数学的な要素を見出し、理解を深める

メディア視聴	学習内容
1時間	場合の数 確率 三角形の性質 円の性質 空間図形 数や位置を表す 数のつくりを調べる はかる 数学で遊ぶ

評価観点	評価基準
知識・技能	数学の基本的な概念や原理・原則を理解し、現実の世界と結びつけて考えることができる
思考・判断・表現	数学の性質について思考を深め、自ら論理的に思考し、適切な活用方法を見出すことができる
主体的に学習に取り組む態度	数学を学ぶ楽しさを感じ、粘り強く考え、数学と日常生活での事象と繋げて深めようとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は2単位以上（メディア視聴1単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
理科	科学と人間生活	単位数 2	吉江 秀文

指導目標

自然と人間生活とのかかわり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察・実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

- 1, 科学技術の発展が今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解させる。
- 2, 身近な自然の事物・現象および日常生活や社会の中で利用されている科学技術を取り上げ、科学と人間生活とのかかわりについて認識を深めさせる。
- 3, 自然と人間生活とのかかわりについての学習を踏まえて、これからの科学と人間生活について考察させる。

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍 科人701
面接指導	12回設定	合格時間数8時間以上(メディア4・対面4)	副教材	
報告課題(レポート)	全6回	A3 6枚+e-ラーニング	考查範囲	報告課題1回~6回
定期考査	あり	100t年法	評定	5段階評定

前期 1~6

考查日 前期 8/20(水)

回	メディア学習(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程
1	科学技術の発展	第1回 5/8(木)	前期 ・学校でのスクーリング ①②標5/22 ③標6/5 ④標6/19 ①集7/29・8/5 ②集7/30・8/6 ③集7/31・8/7 ④集8/1・8/8 新村キャンパス
2	1編 生命の科学	第2回 5/22(木)	
3	2編 物質の化学 リサイクルとは何か	第3回 6/5(木)	
4	3編 光や熱の科学	第4回 6/19(木)	
5	4編 宇宙や地球の科学	第5回 7/3(木)	
6	5編 課題研究	第6回 7/17(木)	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 微生物とその活用 2. 本時の目標 微生物の性質を理解する
2時間	1. 単元（題材）名 身体を守る免疫の仕組み 2. 本時の目標 免疫の仕組みを通して身体の機能を理解する
3時間	1. 単元（題材）名 生命現象の大もととなる遺伝子の働き 2. 本時の目標 遺伝子の働きを理解する
4時間	1. 単元（題材）名 金属の性質とその再利用 2. 本時の目標 金属の性質を学び、生活との関連を理解する

メディア視聴	学習内容
4時間	科学技術の発展 生命の科学 物質の化学 光や熱の科学 宇宙や地球の科学 課題研究

評価観点	評価基準
知識・技能	自然と人間生活との関わりおよび科学技術と人間生活の関わりについて理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技術を身に付けている
思考・判断・表現	観察・実験を行い、人間生活と関連付けて科学的に探究している
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物や現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養っている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は8単位以上（メディア視聴4単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目			担当者
理科	物理基礎		単位数 2	小林 正則
指導目標				
物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことを通して、科学的な探究のために必要な資質・能力を育成する。				
1, 日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動とエネルギーについて理解を深める。				
2, 観察・実験を行い、科学的に探究する力を養う。				
3, 物体の運動と様々なエネルギーについて主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍 物基702
面接指導	12回設定	合格時間数8時間以上(メディア4・対面4)	副教材	
報告課題(レポート)	全6回	A3 6枚+e-ラーニング	考查範囲	報告課題1回～6回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定
後期 13～24		考査日	後期 1/14(水)	
回	メディア学習(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程	
13	1章 直線運動の世界(P10～P33)	第1回 10/16(木)	後期 ・学校でのスクーリング ①②標10/30 ③標11/13 ④標11/27 ①集12/23・1/6 ②集12/24・1/7 ③集12/25・1/8 ④集12/16・1/9	
14	1章 直線運動の世界(P10～P33)			
15	2章 力と運動の世界(P34～P73)	第2回 10/30(木)		
16	2章 力と運動の世界(P34～P73)			
17	3章 力学的エネルギー(P74～P91)	第3回 11/13(木)		
18	3章 力学的エネルギー(P74～P91)			
19	1章 熱(P94～P107)	第4回 11/27(木)	新村キャンパス	
20	1章 熱(P94～P107)			
21	2章 波(P108～P133)	第5回 12/4(木)		
22	2章 波(P108～P133)			
23	3章 電気 4章 エネルギーとその利用(P134～P165)	第6回 12/18(木)		
24	3章 電気 4章 エネルギーとその利用(P134～P165)			

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 運動の表し方 2. 本時の目標 運動・速度・投射を理解する
2時間	1. 単元（題材）名 力学的エネルギー 2. 本時の目標 運動エネルギー・位置エネルギー・力学的エネルギーを理解する
3時間	1. 単元（題材）名 電気と磁気 2. 本時の目標 電気と磁気の性質を理解する
4時間	1. 単元（題材）名 エネルギーとその利用 2. 本時の目標 生活に関連づけて理解する

メディア視聴	学習内容
4時間	直線運動の世界 力と運動の世界 力学的エネルギー 熱 波 電気 エネルギーとその利用

評価観点	評価基準
知識・技能	物体の運動と様々なエネルギーについて理解している
思考・判断・表現	物理的な事物・現象に対して科学的に探究できる
主体的に学習に 取り組む態度	物理的な事物・現象に対して科学的に探究できる

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は8単位以上（メディア視聴4単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目			担当者
理科	化学基礎	単位数	2	島田 祐吉
指導目標				
物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことを通して、科学的な探究のために必要な資質・能力を育成する。				
1, 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解を深める。				
2, 観察・実験を行い、科学的に探究する力を養う。				
3, 物質とその変化について主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍 化基702
面接指導	12回設定	合格時間数8時間以上 (メディア4・対面4)	副教材	
報告課題 (レポート)	全6回	A3 6枚 + e-ラーニング	考查範囲	報告課題1回～6回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定
後期 7～12		考査日	後期 1/14 (水)	
回	メディア学習 (該当ページ)	報告課題 (レポート) 締切期日	面接指導 (スクーリング) 日程	
7	1章 化学とは何 (P7～P33)	第1回 10/16 (木)	後期 ・学校でのスクーリング ①②標10/30 ③標11/13 ④標11/27 ①集12/23・1/6 ②集12/24・1/7 ③集12/25・1/8 ④集12/16・1/9 ①②③1/8 (木) ④1/9 (金) 新村キャンパス	
8	1章 原子の構造と元素の周期表 (P34～P47)	第2回 10/30 (木)		
9	2章 化学結合 (P48～P79)	第3回 11/13 (木)		
10	1章 物質量と化学反応式 (P82～P105)	第4回 11/27 (木)		
11	2章 酸と塩基 (P106～P135)	第5回 12/4 (木)		
12	3章 酸化還元反応 (P136～P167)	第6回 12/18 (木)		

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 原子の構造と元素の周期表 2. 本時の目標 原子の構造と共通性質を理解する
2時間	1. 単元（題材）名 化学結合 2. 本時の目標 原子の結合を理解する
3時間	1. 単元（題材）名 酸と塩基 2. 本時の目標 酸と塩基の性質を理解する
4時間	1. 単元（題材）名 酸化還元反応 2. 本時の目標 生活と関連付けて理解する

メディア視聴	学習内容
4時間	化学とは何か 原子の構造と元素の周期表 化学結合 物質と化学反応式 酸と塩基 酸化還元反応

評価観点	評価基準
知識・技能	化学や科学技術が生活にどのように関わっているか理解している
思考・判断・表現	化学と科学技術との関わりにおける問題を見出し、解決方法を考察できている
主体的に学習に 取り組む態度	化学に対する興味・関心を持っている 主体的・意欲的に化学と関わろうとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は8単位以上（メディア視聴4単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目			担当者
理科	生物基礎	単位数	2	吉江 秀文
指導目標				
生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことを通して、科学的な探究のために必要な資質・能力を育成する。				
1, 日常生活や社会との関連を図りながら、生物と生物現象について理解を深める。				
2, 観察・実験を行い、科学的に探究する力を養う。				
3, 生物や生物現象について主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍 生基702
面接指導	12回設定	合格時間数8時間以上 (メディア4・対面4)	副教材	
報告課題 (レポート)	全6回	A3 6枚 + e-ラーニング	考查範囲	報告課題1回～6回
定期考查	あり	100点法	評定	5段階評定
後期 13～24		考查日	後期 1/14 (水)	
回	メディア学習 (該当ページ)	報告課題 (レポート) 締切期日	面接指導 (スクーリング) 日程	
13	1章 生物の多様性と共通性	第1回 10/16 (木)	後期 ・学校でのスクーリング ①②標10/30 ③標11/13 ④標11/27 ①集12/23・1/6 ②集12/24・1/7 ③集12/25・1/8 ④集12/16・1/9 新村キャンパス	
14	2章 生物とエネルギー			
15	1章 遺伝情報とDNA	第2回 10/30 (木)		
16	2章 遺伝情報とタンパク質の合成			
17	1章 ヒトの体を調節するしくみ	第3回 11/13 (木)		
18	1章 ヒトの体を調節するしくみ			
19	2章 免疫のはたらき	第4回 11/27 (木)		
20	2章 免疫のはたらき			
21	1章 植生と遷移	第5回 12/4 (木)		
22	1章 植生と遷移			
23	2章 生態系と生物の多様性	第6回 12/18 (木)		
24	2章 生態系と生物の多様性			

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 生物の多様性と共通性 2. 本時の目標 生物多様性の意義を理解する
2時間	1. 単元（題材）名 生物とエネルギー 2. 本時の目標 生物活動のエネルギーを理解する
3時間	1. 単元（題材）名 免疫のはたらき 2. 本時の目標 免疫のはたらきを理解する
4時間	1. 単元（題材）名 植生と遷移 2. 本時の目標 植生について理解する

メディア視聴	学習内容
4時間	生物の多様性と共通性 生物とエネルギー 遺伝情報とDNA 遺伝情報とタンパク質の合成 人の体を調整するしくみ 免疫のはたらき 植生と遷移 背う体系と生物の多様性

評価観点	評価基準
知識・技能	生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・原則を理解している
思考・判断・表現	生物や生物現象を対象に探究の過程を通じて問題を見出し考察できる
主体的に学習に	生物に対する興味・関心をもっている
取り組む態度	生物や生命現象に対して主体的に探究しようとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は8単位以上（メディア視聴4単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
理科	物理	単位数 4	小林 正則
指導目標			
理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して、様々な運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成する。			
1, 日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動とエネルギーについて理解を深める。			
2, 観察・実験を行い、科学的に探究する力を養う。			
3, 物体の運動と様々なエネルギーについて主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。			
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書 東京書籍 物理701
面接指導	24回設定	合格時間数16時間以上(メディア8・対面8)	副教材
報告課題(レポート)	全12回	A3 12枚+e-ラーニング	考查範囲 報告課題1回~12回
定期考査	あり	100点法	評定 5段階評定
通年 1~24	考査日	通年前期 8/20(水)	通年後期 1/14(水)
回	メディア学習(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程
1	1章 平面内の運動	第1回 5/8(木)	前期 ・学校でのスクーリング
2	2章 剛体のつり合い		
3	3章 運動量	第2回 5/22(木)	①標5/22 ②標6/5 ③標7/3 ④標7/17
4	4章 円運動		
5	5章 単振動	第3回 6/5(木)	①②集7/30・8/6 ③集7/31・8/7 ④集8/1・8/8
6	6章 万有引力		
7	7章 気体分子の運動	第4回 6/19(木)	新村キャンパス
8	7章 気体分子の運動		
9	1章 波の伝わり方	第5回 7/3(木)	
10	2章 音		
11	3章 光	第6回 7/17(木)	
12	3章 光		
13	1章 電場と電位	第7回 10/16(木)	後期 ・学校でのスクーリング
14	1章 電場と電位		
15	2章 電流	第8回 10/30(木)	⑤標10/30 ⑥標11/13 ⑦標11/27 ⑧標12/18
16	2章 電流		
17	3章 電流と磁場	第9回 11/13(木)	⑤⑥集12/24・1/7 ⑦集12/25・1/8 ⑧集12/26・1/9
18	3章 電流と磁場		
19	4章 電磁誘導と電磁波	第10回 11/27(木)	新村キャンパス
20	4章 電磁誘導と電磁波		
21	1章 電子と光	第11回 12/4(木)	
22	1章 電子と光		
23	2章 原子と原子核	第12回 12/18(木)	
24	2章 原子と原子核		

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元(題材)名 平面内の運動 2. 本時の目標 特に放物運動に関する理解を深める
2時間	1. 単元(題材)名 円運動 2. 本時の目標 円運動に関する理解を深める
3時間	1. 単元(題材)名 万有引力 2. 本時の目標 生活に関わることとして理解を深める
4時間	1. 単元(題材)名 音 2. 本時の目標 音の性質に関する理解を深める
5時間	1. 単元(題材)名 光 2. 本時の目標 光の性質に関する理解を深める
6時間	1. 単元(題材)名 電場と電位 2. 本時の目標 電気の性質に関する理解を深める
7時間	1. 単元(題材)名 電流 2. 本時の目標 電流の性質に関する理解を深める
8時間	1. 単元(題材)名 原子と原子核 2. 本時の目標 原子に関する理解を深める

メディア視聴	学習内容
8時間	平面内の運動・剛体のつり合い 運動量と円運動 単振動と万有引力 気体分子の運動 波の伝わり方と音 光 電場と電位と電流 電流と磁場と電磁誘導と電磁波 電子と光 原子と原子核

評価観点	評価基準
知識・技能	物理的な事物・現象についての基本的な概念・原理を理解している
思考・判断・表現	物理現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成して科学的に探究できる
主体的に学習に 取り組む態度	物理的な事物・現象に対する興味・関心を持っている 物理的な現象に主体的・積極的に関わろうとしている

単位認定基準

- 1 報告課題(添削指導)は全12回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導(スクーリング)は16単位以上(メディア視聴8単位を含む)出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目			担当者
理科	化学	単位数	4	島田 祐吉
指導目標				
理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成する。				
1, 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解を深める。				
2, 観察・実験を行い、科学的に探究する力を養う。				
3, 物質とその変化について主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍 化学701
面接指導	24回設定	合格時間数16時間以上(メディア8・対面8)	副教材	
報告課題(レポート)	全12回	A3 12枚+e-ラーニング	考查範囲	報告課題1回~12回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定
通年	1~12	考査日	通年前期 8/20(水)	通年後期 1/14(水)
回	メディア学習(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程	
1	1章 物質の状態 2章 気体の性質 (Vol.1 P9~P43)	第1回 5/8(木)	前期 ・学校でのスクーリング	
2	3章 溶液の性質 4章 固体の構造 (Vol.1 P44~P88)	第2回 5/22(木)	①標5/22 ②標6/5 ③標7/3 ④標7/17	
3	1章 化学反応と熱・光 (Vol.1 P89~P111)	第3回 6/5(木)	①②集7/30・8/6 ③集7/31・8/7 ④集8/1・8/8	
4	2章 電池と電気分解 (Vol.1 P112~P132)	第4回 6/19(木)	新村キャンパス	
5	1章 化学反応の速さ 2章 化学平衡 (Vol.1 P133~P161)	第5回 7/3(木)		
6	2章 化学平衡 3章 水溶液中の化学平衡 (Vol.1 P162~P194)	第6回 7/17(木)		
7	1章 周期表と元素 2章 非金属元素単体と化合物 3章 典型金属元素の単体と化合物 (Vo.2 P7~P65)	第7回 10/16(木)	後期 ・学校でのスクーリング	
8	4章 遷移元素の単体と化合物 5章 金属イオンの分離と確認 (Vol.2 P66~P100)	第8回 10/30(木)	⑤標10/30 ⑥標11/13 ⑦標11/27 ⑧標12/18	
9	1章 有機化合物の特徴と構造 2章 炭化水素 (Vol.2 P101~P139)	第9回 11/13(木)	⑤⑥集12/24・1/7 ⑦集12/25・1/8 ⑧集12/26・1/9	
10	3章 アルコールと関連化合物 (Vol.2 P140~P171)	第10回 11/27(木)	新村キャンパス	
11	4章 芳香族化合物 1章 高分子化合物とは何か (Vol.2 P140~P171)	第11回 12/4(木)		
12	2章 天然高分子化合物 3章 合成高分子化合物 第7編 化学が果たす役割 (Vol.2 P140~P171)	第12回 12/18(木)		

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元(題材)名 物質の状態 2. 本時の目標 物質に関する理解を深める
2時間	1. 単元(題材)名 気体の性質 2. 本時の目標 気体の性質に関して、様々な視点で考える
3時間	1. 単元(題材)名 電池と電気分解 2. 本時の目標 実生活に関わる視点から学ぶ
4時間	1. 単元(題材)名 水溶液中の化学平衡 2. 本時の目標 実生活に関わる視点から学ぶ
5時間	1. 単元(題材)名 有機化合物の特徴と構造 2. 本時の目標 実用化されている視点からも学ぶ
6時間	1. 単元(題材)名 アルコールと関連化合物 2. 本時の目標 実生活に関わる視点から学ぶ
7時間	1. 単元(題材)名 芳香族化合物 2. 本時の目標 興味・関心を高める
8時間	1. 単元(題材)名 天然高分子化合物 2. 本時の目標 実生活に関わる視点から学ぶ

メディア視聴	学習内容
8時間	物質の状態・気体の性質・溶液の性質 溶液の性質・固体の構造 化学反応と熱・光 電池と電気分解 化学反応の速さと化学平衡 化学平衡と水溶液中の化学平衡 周期表と元素・非金属元素単体と化合物・典型金属元素と化合物 遷移元素の単体と化合物・金属イオンの分離と確認 有機化合物の特徴と構造・炭化水素 アルコールと関連化合物 芳香族化合物・高分子化合物とは何か 天然高分子化合物・化学が果たす役割

評価観点	評価基準
知識・技能	化学的な事物・現象についての基本的な概念・原理を理解している
思考・判断・表現	化学的な現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成して科学的に探究できる
主体的に学習に	化学的な事物・現象に対する興味・関心を持っている
取り組む態度	化学的な現象に主体的・積極的に関わろうとしている

単位認定基準

- 1 報告課題(添削指導)は全12回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導(スクーリング)は16単位以上(メディア視聴8単位を含む)出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
理科	生物	単位数 4	吉江 秀文
指導目標			
理科の見方・考え方を働かせ、見直しをもって観察・実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成する。			
1, 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解を深める。			
2, 観察・実験を行い、科学的に探究する力を養う。			
3, 生物や生物現象について主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。			
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書 東京書籍 生物701
面接指導	24回設定	合格時間数16時間以上(メディア8・対面8)	副教材 プリント教材eトレ
報告課題(レポート)	全12回	A3 12枚+e-ラーニング	考查範囲 報告課題1回~12回
定期考査	あり	100点法	評定 5段階評定
通年 1~24	考査日	通年前期 8/20(水)	通年後期 1/14(水)
回	メディア学習(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程
1	1章 1節共通性と多様性をつなぐ~2節生命の誕生	第1回 5/8(木)	前期 ・学校でのスクーリング
2	3節生物の多様な地球環境の変化~2章 1節遺伝的変異		
3	2節多様な遺伝的変異をもたらす有性生殖~3節進化の定義と自然選択による進化	第2回 5/22(木)	①標5/22 ②標6/5 ③標7/3 ④標7/17
4	4節遺伝子レベルで見る進化~5節種分化		
5	3章 1節生物の系統~2節生物の系統分類	第3回 6/5(木)	①②集7/30・8/6 ③集7/31・8/7 ④集8/1・8/8
6	3節霊長類のなかのヒト~4節人類の出現と変遷		
7	1章 1節細胞を構成する成分~3節細胞の構造	第4回 6/19(木)	新村キャンパス
8	4節タンパク質の構造~6節生命現象とタンパク質		
9	2章 1節代謝とエネルギー~2節呼吸	第5回 7/3(木)	
10	3節発酵~4節光合成		
11	1章 1節DNAの構造~3節遺伝情報の流れ	第6回 7/17(木)	
12	4節RNAと転写~6節遺伝情報の変化		
13	2章 1節原核生物の遺伝子発現の調節~4節動物の発生	第7回 10/16(木)	後期 ・学校でのスクーリング
14	5節胚の細胞の発生運命と遺伝子発現~7節動物の形と調節遺伝子の発現		
15	3章 1節遺伝子を増幅する技術~2節塩基配列を解読する技術	第8回 10/30(木)	⑤標10/30 ⑥標11/13 ⑦標11/27 ⑧標12/18
16	3節遺伝子組み換え技術の利用~4節遺伝子や細胞を扱う技術の課題		
17	1章 動物の刺激と受容と反応	第9回 11/13(木)	⑤⑥集12/24・1/7 ⑦集12/25・1/8 ⑧集12/26・1/9
18	2章 動物の行動		
19	3章 1節被子植物の生殖と発生~5節茎や根の成長と環境要因の影響	第10回 11/27(木)	新村キャンパス
20	6節気孔の開閉の調節と環境要因の影響~9節器官の老化と脱落の仕組み		
21	1章 1節生態系からみた生物~3節個体群の構造と成長	第11回 12/4(木)	
22	4章 個体間の相互作用~6節生物群集の成り立ちと多種の共存		
23	2章 1節食物網と物質生産~2節人間社会の変化と生態系	第12回 12/18(木)	
24	3節生態系の復元~4節人間は自然とどう付き合っていきたいか		

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 生命の起源と細胞の進化 2. 本時の目標 生命の起源を探り、興味を深める
2時間	1. 単元（題材）名 細胞と物質 2. 本時の目標 細胞に関する知見を深める
3時間	1. 単元（題材）名 呼吸の反応経路と反応の場 2. 本時の目標 自分たちの身体機能と関連付けて考察する
4時間	1. 単元（題材）名 光合成 2. 本時の目標 光合成について学びを深める
5時間	1. 単元（題材）名 遺伝情報の流れ 2. 本時の目標 遺伝についての学びを深める
6時間	1. 単元（題材）名 ニューロンの興奮 2. 本時の目標 神経伝達のシステムを学ぶ
7時間	1. 単元（題材）名 動物の行動 2. 本時の目標 動物の行動について学びを深める
8時間	1. 単元（題材）名 器官の老化と脱落 2. 本時の目標 老化のシステムを学ぶ

メディア視聴	学習内容
8時間	共通性と多様性・遺伝的変異について 多様な遺伝子変異をもたらす有性生殖および種分化 生物の系統と進化、人類の出現と変遷 細胞を構成する成分（生体膜・細胞・タンパク質の構造） 生命現象とタンパク質 代謝とエネルギー（呼吸・発酵・光合成について） DNAの構造と複製、遺伝子情報の流れと変化について 原核生物・真核生物の遺伝子発見及び動物の形と調節遺伝子の発現 遺伝子を扱う技術及び遺伝子や細胞を扱う技術の課題 刺激の受容から反応への流れ、ニューロンの興奮、効果器 植物の環境反応について（被子植物の生殖と発生、環境要因の影響） 生物多様性と人間社会の変化

評価観点	評価基準
知識・技能	生物や生物現象に関わる事象・現象についての基本的な概念・原理を理解している
思考・判断・表現	生物や生物現象を対象に科学的に探究するために必要な資質・能力を育成して科学的に探究できる
主体的に学習に 取り組む態度	生物に対する興味・関心を持っている 生物や生物現象に対して主体的に探究しようとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全12回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は16単位以上（メディア視聴8単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
英語	英語コミュニケーションⅠ	単位数 3	脇淵 良太・長谷川 敦
指導目標			
1, 「聞くこと」日常的・社会的な話題について一定の支援を活用し必要な情報を聞き取り、話の意図や要点を把握することができるようにする。			
2, 「読むこと」日常的・社会的な話題について一定の支援を活用し必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。			
3, 「話すこと」日常的・社会的な話題について一定の支援を活用し多様な語句や文を用いて情報や考え、気持などを伝え合うやり取りを続けたり、論理的に詳しく伝えたりすることができるようにする。			
4, 「書くこと」日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用し情報や考えを論理性に注意して複数の段落からなる文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。			
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書 東京書籍 C I 701
面接指導	18回設定	合格時間数12時間以上 (メディア6・対面6)	副教材
報告課題 (レポート)	全9回	A3 9枚 + e-ラーニング	考査範囲 報告課題1回~9回
定期考査	あり	100点法	評定 5段階評定
通年 1~9	考査日	通年前期 8/20 (水)	通年後期 1/15 (木)
回	メディア学習 (該当ページ)	報告課題 (レポート) 締切期日	面接指導 (スクーリング) 日程
1	Lesson1 Breakfast around the World(20~27)	第1回 5/8 (木)	前期 ・学校でのスクーリング ①標5/8 ②標6/19 ③標7/3 ④集7/30・8/6 ⑤集7/31・8/7 ⑥集8/1・8/8
	Lesson2 Australian's Cute Quokkas(28~37)		
2	Lesson3 A Train Driver in Sanriku(38~47)	第2回 5/22 (木)	
3	Lesson4 A Miracle Mirror(48~59)	第3回 6/5 (木)	新村キャンパス
4	Lesson5 Learning from the Sea(60~73)	第4回 10/16 (木)	後期 ・学校でのスクーリング ④標10/16 ⑤標11/27 ⑥標12/4 ④集12/24・1/7 ⑤集12/25・1/8 ⑥集12/26・1/9
	Reading 1 Short Stories in English(74~77)		
5	Lesson6 A Funny Picture from the Edo Period(78~87)	第5回 10/30 (木)	
6	Lesson7 A Diary of Hope(88~97)	第6回 11/13 (木)	新村キャンパス
7	Lesson8 A Door to New Life(98~111)	第7回 11/27 (木)	
8	Lesson9 Fighting Plastic Pollution(112~121)	第8回 12/4 (木)	
9	Lesson10 Pigs from across the Sea(122~131)	第9回 12/18 (木)	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元(題材)名 Breakfast around the World 及び Australia's Cute Quokkas 2. 本時の目標 過去形・現在進行形を学ぶ
2時間	1. 単元(題材)名 A Train Driver in Sanriku 2. 本時の目標 助動詞(can・will)の働きを学ぶ
3時間	1. 単元(題材)名 A Miracle Mirror 2. 本時の目標 to不定詞の用法を学ぶ
4時間	1. 単元(題材)名 Learning from the Sea 2. 本時の目標 動名詞の働きを学ぶ
5時間	1. 単元(題材)名 A Funny Picture from the Edo Period、A Diary of Hope 及び A Door to New Life 2. 本時の目標 受け身(受動態)、比較表現や現在完了形の用法を学ぶ
6時間	1. 単元(題材)名 Fighting Plastic Pollution 2. 本時の目標 分詞(現在分詞・過去分詞)の働きを学ぶ

メディア視聴	学習内容
6時間	Lesson1・2 Lesson3 Lesson4 Lesson5・Reading1 Lesson6 Lesson7 Lesson8 Lesson9 Lesson10

評価観点	評価基準
知識・技能	学習した表現を用いた文の形・意味を理解している。また、相手とコミュニケーションできる
思考・判断・表現	適切な表現を正しく認識し、使用している。
主体的に学習に 取り組む態度	学習した表現を正しく認識し、適切に使おうとしている。 自分の考えをまとめ、相手が理解しやすいように適切に伝えようとしている

単位認定基準

- 1 報告課題(添削指導)は全9回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導(スクーリング)は12単位以上(メディア視聴7単位を含む)出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目			担当者
英語	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4	脇淵 良太・長谷川 敦
指導目標				
英語を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考え等を的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。そのために英語理解において最も中心となる必修単語習得・文法項目理解を確実にを行い、これを土台として文章を読み、書き、聞き、考えを伝えるという「技術」面の修得を目指す。				
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍 CⅡ701
面接指導	24回設定	合格時間数16時間以上(メディア8・対面8)	副教材	
報告課題(レポート)	全12回	A3 12枚+e-ラーニング	考查範囲	報告課題1回～12回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定
通年	1～12	考査日	通年前期 8/20(水)	通年後期 1/14(水)
回	メディア学習(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程と内容	
1	Pre-Lesson Lesson1 A Colorful Island(8~19)	第1回 5/8(木)	前期 ・学校でのスクーリング	
2	Lesson2 With the Beatles(20~29)	第2回 5/22(木)	①標5/22 ②標6/5 ③標7/3 ④標7/17	
3	Lesson3 Wild Men(30~41)	第3回 6/5(木)	①集7/29・8/5 ②集7/30・8/6 ③集7/31・8/7 ④集8/1・8/8	
4	Lesson4 Little Hero(42~55)	第4回 6/19(木)	新村キャンパス	
5	Lesson5 Special Makeup in Kabuki(56~69)	第5回 7/3(木)		
6	Reading1 Mujina(70~77)	第6回 7/17(木)		
7	Lesson6 Seeds for Future Generations(78~91)	第7回 10/16(木)	後期 ・学校でのスクーリング	
8	Lesson7 Over the Wall(92~105)	第8回 10/30(木)	⑤標10/30 ⑥標11/13 ⑦標12/4 ⑧標12/18	
9	Lesson8 Inspiration from Nature(106~119)	第9回 11/13(木)	⑤集12/23・1/6 ⑥集12/24・1/7 ⑦集12/25・1/8 ⑧集12/26・1/9	
10	Lesson9 The Bitter Truth behind Chocolate(120~133)	第10回 11/27(木)	新村キャンパス	
11	Lesson10 Fighting Angel(134~147)	第11回 12/4(木)		
12	Reading2 Bear's Pie(148~155)	第12回 12/18(木)		

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元(題材)名 A Colorful Island 及び With the Beatles 2. 本時の目標 関係代名詞whatと比較表現を学ぶ
2時間	1. 単元(題材)名 Wild Men 2. 本時の目標 形式主語itについて学ぶ
3時間	1. 単元(題材)名 Little Hero 及び Special Makeup in Kabuki 2. 本時の目標 間接疑問文とto不定詞を含む表現について学ぶ
4時間	1. 単元(題材)名 Mujina 2. 本時の目標 英文を読む楽しさを学ぶ
5時間	1. 単元(題材)名 Seeds for Future Generations 及び Over the Wall 2. 本時の目標 名詞節のifと関係副詞(where・when)を学ぶ
6時間	1. 単元(題材)名 Inspiration from Nature 2. 本時の目標 知覚動詞(see・hear・feelなど)について学ぶ
7時間	1. 単元(題材)名 The Bitter Truth behind Chocolate 及び Fighting Angel 2. 本時の目標 使役動詞の用法や分詞構文について学ぶ
8時間	1. 単元(題材)名 Bear's Pie 2. 本時の目標 英文を読む楽しさを学ぶ

メディア視聴	学習内容
8時間	Pre Lesson および Lesson1 Lesson2 Lesson3 Lesson4 Lesson5 Reading1 Lesson6 Lesson7 Lesson8 Lesson9 Lesson10 Lesson11

評価観点	評価基準
知識・技能	英語の特徴やきまりを理解し、それに基づきながら適切な文を作ることができる
思考・判断・表現	話し手や書き手の意図を適切にとらえ、情報を整理してまとめることができる 話し手や書き手の意図を適切にとらえ、自分なりの考えを伝えることができる
主体的に学習に取り組む態度	英語を用いて、自分の意見を伝えようとしたり、相手の意見を理解しようとするなど、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている

単位認定基準

- 1 報告課題(添削指導)は全12回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導(スクリーング)は16単位以上(メディア視聴9単位を含む)出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
英語	論理・表現Ⅰ	単位数 2	脇淵 良太・長谷川 敦

指導目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

文構造から仮定法まで基本となる文法事項を学び、情報や考えを表す英語力を修得する。報告課題では文章をまとめる力を養う。面接指導では発表の方法を学び、コミュニケーション能力を高める。

メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍 論Ⅰ701
面接指導	24回設定	合格時間数8時間以上(メディア4・対面4)	副教材	
報告課題(レポート)	全6回	A3 6枚+e-ラーニング	考查範囲	報告課題1回～6回
定期考查	あり	100点法	評定	5段階評定

前期 1～6 後期 1～6 考查日 前期 8/20(水) 後期 1/14(水)

回	メディア学習(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程
1	Unit1 Lesson1,Lesson2,Lesson3(14~31)	第1回 5/8(木)	前期 ・学校でのスクーリング ①標5/8 ②標6/19 ③標7/3 ④標7/17 ①集7/29・8/5 ②③集7/30・8/6 ④集7/31・8/7 新村キャンパス
2	Unit1 Lesson4,Lesson5,Lesson6(32~49)	第2回 5/22(木)	
3	Unit1 Lesson7,Lesson8,Lesson9(50~67)	第3回 6/5(木)	
4	Unit1 Lesson10,Lesson11,Lesson12(68~87)	第4回 6/19(木)	
5	Unit2 Lesson1,Lesson2(88~99) Unit2 Lesson3,Lesson4(100~111)	第5回 7/3(木)	
6	Unit2 Lesson5,Lesson6(112~123) Unit2 Lesson7,Lesson8(124~135)	第6回 7/17(木)	
1	Unit1 Lesson1,Lesson2,Lesson3(14~31)	第1回 10/16(木)	後期 ・学校でのスクーリング ①標10/16 ②標11/27 ③標12/4 ④標12/18 ①集12/23・1/6 ②③集12/24・1/7 ④集12/25・1/8 新村キャンパス
2	Unit1 Lesson4,Lesson5,Lesson6(32~49)	第2回 10/30(木)	
3	Unit1 Lesson7,Lesson8,Lesson9(50~67)	第3回 11/13(木)	
4	Unit1 Lesson10,Lesson11,Lesson12(68~87)	第4回 11/27(木)	
5	Unit2 Lesson1,Lesson2(88~99) Unit2 Lesson3,Lesson4(100~111)	第5回 12/4(木)	
6	Unit2 Lesson5,Lesson6(112~123) Unit2 Lesson7,Lesson8(124~135)	第6回 12/18(木)	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元(題材)名 Unit1 Lesson1~Lesson3 2. 本時の目標 提案・拒否・依頼・人物紹介の表現を学ぶ
2時間	1. 単元(題材)名 Unit1 Lesson4~Lesson12 2. 本時の目標 体調・買い物・希望・誘い・助言・感謝・感想・謝罪・共感・主張の表現を学ぶ
3時間	1. 単元(題材)名 Unit2 Lesson1~Lesson4 2. 本時の目標 ディベートやスピーチの表現を学ぶ
4時間	1. 単元(題材)名 Unit2 Lesson5~Lesson8 2. 本時の目標 様々な英語表現で表現活動の楽しさを知る

メディア視聴	学習内容
4時間	Unit1 Lesson1およびLesson2およびLesson3 Unit1 Lesson4およびLesson5およびLesson6 Unit1 Lesson7およびLesson8およびLesson9 Unit1 Lesson10およびLesson11およびLesson12 Unit2 Lesson1およびLesson2およびLesson3およびLesson4 Unit2 Lesson5およびLesson6およびLesson7およびLesson8

評価観点	評価基準
知識・技能	英語の音声や語彙・表現・文法を身に付け、実際のコミュニケーションとして4技能をバランスよく運用できる力を身に付けている
思考・判断・表現	幅広い話題について学習した内容を使用して相手に伝えることができる
主体的に学習に取り組む態度	英語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に学習した内容を用いてコミュニケーションを図ろうとしている

単位認定基準

- 1 報告課題(添削指導)は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導(スクーリング)は8単位以上(メディア視聴4単位を含む)出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
保健体育	1保健（履修モデル1年次）	単位数 1	永井 真弓
指導目標			
1, 個人および社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。			
2, 健康について自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。			
3, 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。			
メディア学習	なし	教科書	大修館書店 保体701
面接指導	4回設定	合格時間数1時間以上	副教材
報告課題（レポート）	全3回	A3 3枚	① 報告課題1回～3回
定期考査	あり	100点法	② 5段階評定
前期 1～6	後期 1～6	考査日 前期 8/20（水）	後期 1/13（火）
回	学習内容（該当ページ）	報告課題（レポート）締切期日	面接指導（スクーリング）日程
1	01健康の考え方と成り立ち～05がんの治療と回復	第1回 5/8（木）	前期 ・学校でのスクーリング ①標6/5 ①集7/29・8/5 新村キャンパス
2	06運動と健康～10飲酒と健康		
3	11薬物乱用と健康～14精神疾患からの回復	第2回 5/22（木）	
4	15現代の感染症～19健康に関する環境づくり		
5	01事故の現状と発生要因～03交通における安全	第3回 6/5（木）	
6	04応急手当の意義とその基本～06心肺蘇生法		
1	01健康の考え方と成り立ち～05がんの治療と回復	第1回 10/16（木）	後期 ・学校でのスクーリング ①標11/13 ①集12/23・1/6 新村キャンパス
2	06運動と健康～10飲酒と健康		
3	11薬物乱用と健康～14精神疾患からの回復	第2回 10/30（木）	
4	15現代の感染症～19健康に関する環境づくり		
5	01事故の現状と発生要因～03交通における安全	第3回 11/13（木）	
6	04応急手当の意義とその基本～06心肺蘇生法		

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 健康の考え方と成り立ち 2. 本時の目標 健康に関する適切な意思決定・行動選択ができる知識を修得する

メディア視聴	学習内容
なし	

評価観点	評価基準
知識・技能	社会生活における自他の健康・安全について理解している。また、その技能を習得している
思考・判断・表現	自他や社会における課題を発見し、合理的・計画的に解決するよう、自ら考えることができる
主体的に学習に取り組む態度	健康の保持促進について理解し、明るく豊かな生活を目指す姿がある

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全3回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は2単位以上（メディア視聴1単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
保健体育	2保健（履修モデル2年次）	単位数 1	永井 真弓
指導目標			
1, 個人および社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。			
2, 健康について自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。			
3, 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。			
メディア学習		教科書	大修館書店 保体701
面接指導	4回設定	合格時間数1時間以上	副教材
報告課題（レポート）	全3回	A3 3枚	報告課題1回～3回
定期考査	あり	100点法	5段階評定
前期 1～6	後期 1～6	考査日 前期 8/20（水）	後期 1/13（火）
回	学習内容（該当ページ）	報告課題（レポート）締切期日	面接指導（スクーリング）日程と内容
1	01ライフステージと健康～04妊娠・出産と健康	第1回 5/8（木）	前期 ・学校でのスクーリング ①標6/5 ①集7/30・8/6 新村キャンパス
2	05避妊法と人工妊娠中絶～07中高年期と健康		
3	08働くことと健康～10健康的な職業生活	第2回 5/22（木）	
4	01大気汚染と健康～04ごみの処理と上下水道の整備		
5	05食品の安全性～07保健サービスとその活用	第3回 6/5（木）	
6	08医療サービスとその活用～11健康に関する環境づくりと社会参加		
1	01ライフステージと健康～04妊娠・出産と健康	第1回 10/16（木）	後期 ・学校でのスクーリング ①標11/13 ①集12/24・1/7 新村キャンパス
2	05避妊法と人工妊娠中絶～07中高年期と健康		
3	08働くことと健康～10健康的な職業生活	第2回 10/30（木）	
4	01大気汚染と健康～04ごみの処理と上下水道の整備		
5	05食品の安全性～07保健サービスとその活用	第3回 11/13（木）	
6	08医療サービスとその活用～11健康に関する環境づくりと社会参加		

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 ライフステージと健康 2. 本時の目標 ライフステージに応じた意志決定・行動選択の必要性を理解する

メディア視聴	学習内容
なし	

評価観点	評価基準
知識・技能	社会生活における自他の健康・安全について理解している。また、その技能を習得している
思考・判断・表現	自他や社会における課題を発見し、合理的・計画的に解決するよう、自ら考えることができる
主体的に学習に取り組む態度	健康の保持促進について理解し、明るく豊かな生活を目指す姿がある

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全3回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は2単位以上（メディア視聴1単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目			担当者
保健体育	1体育（履修モデル1年次）	単位数	2	永井 真弓
指導目標				
1, 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につける。				
2, 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。				
3, 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。				
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	大修館書店 保体701・アクティブスポーツ2025
面接指導	12回設定	合格時間数10時間以上（メディア4・対面6）	副教材	なし
報告課題（レポート）	全2回	A3 2枚	考查範囲	報告課題1回～2回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定
通年	1～4	考査日	通年後期 1/15（木）	
回	メディア学習（該当項目）	報告課題該当ページ	報告課題（レポート）締切期日	面接指導（スクーリング）日程
1	体育理論 1.スポーツの発祥と発展	教科書P.136～P.156	第1回 5/8（木）	前期 ・学校でのスクーリング ①標5/22 ②標6/5 ③標7/17 ④②③集7/30・8/6 新村キャンパス
2	メディア視聴 陸上競技	アクティブスポーツ P.43～64	第2回 5/22（木）	
3	メディア視聴 水泳競技	アクティブスポーツ P.65～80	第1回 10/16（木）	後期 ・学校でのスクーリング ④標10/30 ⑤標11/13 ⑥標12/18 ④⑤⑥集12/24・1/7 新村キャンパス
4	メディア視聴 器械運動	アクティブスポーツ P.81～100	第2回 10/30（木）	
5				
6				
	※レポート前期提出・合格の場合は後期提出不要			
	メディア視聴報告書は全4回提出する			

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元(題材)名 体育理論 スポーツの発祥と発展 2. 本時の目標 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する
2時間	1. 単元(題材)名 陸上競技 2. 本時の目標 記録の向上や課題解決を学び、各種目競技の技能を身に付ける
3時間	1. 単元(題材)名 武道 2. 本時の目標 伝統的な考え方・技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを身に付ける
4時間	1. 単元(題材)名 体育理論 スポーツの発祥と発展 2. 本時の目標 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する
5時間	1. 単元(題材)名 陸上競技 2. 本時の目標 記録の向上や課題解決を学び、各種目競技の技能を身に付ける
6時間	1. 単元(題材)名 武道 2. 本時の目標 伝統的な考え方・技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを身に付ける

メディア視聴	学習内容
4時間	スポーツの始まりと変遷・文化としてのスポーツ オリンピックとパラリンピックの意義・スポーツが経済に及ぼす効果 スポーツの高潔さとドーピング・スポーツと環境 陸上競技 水泳競技 器械運動

評価観点	評価基準
知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする
思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う
主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う

単位認定基準

- 1 報告課題(添削指導)は全2回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導(スクーリング)は10単位以上(メディア視聴4単位を含む)出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目			担当者
保健体育	2体育（履修モデル2年次）	単位数	3	田貝 明日香
指導目標				
1, 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につける。				
2, 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。				
3, 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。				
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	大修館書店 保体701・アクティブスポーツ2025
面接指導	18回設定	合格時間数15時間以上（メディア9・対面6）	副教材	なし
報告課題（レポート）	全3回	A3 3枚	考查範囲	報告課題1回～3回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定
通年	1～6	考査日	通年後期 1/15（木）	
回	メディア学習（該当項目）	報告課題該当項目	報告課題（レポート）締切期日	面接指導（スクーリング）日程
1	体育理論 2.運動・スポーツの学び方	教科書P.158～P.180	第1回 5/8（木）	前期 ・学校でのスクーリング ①標5/22 ②標6/5 ③標7/17 ①②集7/30・8/6 ③集8/1・8/8 新村キャンパス
2	メディア視聴 球技（サッカー）	アクティブスポーツ P.143～166	第2回 5/22（木）	
3	メディア視聴 球技（バレーボール）	アクティブスポーツ P.187～208	第3回 6/5（木）	
4	メディア視聴 球技（テニス）	アクティブスポーツ P.209～228	第1回 10/16（木）	後期 ・学校でのスクーリング ①標10/30 ②標11/13 ③標12/18 ①②集12/24・1/7 ③集12/26・1/9 新村キャンパス ※レポート前期提出・合格 の場合は後期提出不要 メディア視聴報告書は 全9回提出
5	メディア視聴 球技（卓球）	アクティブスポーツ P.229～238	第2回 10/30（木）	
6	メディア視聴 球技（バドミントン）	アクティブスポーツ P.239～248	第3回 11/13（木）	
7	メディア視聴 球技（ソフトボール）	アクティブスポーツ P.249～260		
8	メディア視聴 武道（柔道）	アクティブスポーツ P.267～286		
9	メディア視聴 武道（剣道）	アクティブスポーツ P.287～306		

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 体づくり運動 2. 本時の目標 運動する心地よさや仲間と関わる楽しさを味わい、健康維持のための体力を高める
2時間	1. 単元（題材）名 体づくり運動 2. 本時の目標 運動する心地よさや仲間と関わる楽しさを味わい、健康維持のための体力を高める
3時間	1. 単元（題材）名 陸上競技 2. 本時の目標 記録の向上や課題解決を学び、各種目競技の技能を身に付ける
4時間	1. 単元（題材）名 陸上競技 2. 本時の目標 記録の向上や課題解決を学び、各種目競技の技能を身に付ける
5時間	1. 単元（題材）名 球技 卓球・バドミントン 2. 本時の目標 状況に応じた操作や安定した用具の操作と連携した動きを学ぶ
6時間	1. 単元（題材）名 球技 卓球・バドミントン 2. 本時の目標 状況に応じた操作や安定した用具の操作と連携した動きを学ぶ

メディア視聴	学習内容
9時間	スポーツにおける技術と体力・スポーツにおける技術と戦術 技術の上達過程と練習・効果的な動きのメカニズム 体力トレーニング・運動やスポーツでの安全確保 サッカー バレーボール テニス・卓球 バドミントン・ソフトボール 柔道 剣道

評価観点	評価基準
知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする
思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う
主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全3回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は15単位以上（メディア視聴9単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者	
保健体育	3体育（履修モデル3年次）	単位数 2	中嶋 海久	
指導目標				
1, 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につける。				
2, 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。				
3, 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。				
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	大修館書店 保体701・アクティブスポーツ2025
面接指導	12回設定	合格時間数10時間以上（メディア4・対面6）	副教材	なし
報告課題（レポート）	全2回	A3 2枚	考查範囲	報告課題1回～2回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定
通年 1～4	考査日		通年後期 1/15（木）	
回	メディア学習（該当項目）	報告課題該当項目	報告課題（レポート）締切期日	面接指導（スクーリング）日程
1	体育理論 豊かなスポーツライフの設計	教科書P.182～P.195	第1回 5/8（木）	前期 ・学校でのスクーリング ①標5/22 ②標6/5 ③標7/17 ①②集7/30・8/6 ③集7/31・8/7 新村キャンパス
2	メディア視聴 球技(バスケットボール)	アクティブスポーツ P.101～124	第2回 5/22（木）	
3	メディア視聴 球技(ハンドボール)	アクティブスポーツ P.125～142		
4	メディア視聴 球技(ソフトテニス)	アクティブスポーツ P.219～228	第1回 10/16（木）	後期 ・学校でのスクーリング ①標10/30 ②標11/13 ③標12/18 ①②集12/24・1/7 ③集12/25・1/8 新村キャンパス
			第2回 10/30（木）	
	※レポート前期提出・合格の場合は後期提出不要			
	メディア視聴報告書は全4回提出する			

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 体育理論 豊かなスポーツライフの設計 2. 本時の目標 運動やスポーツの効果的な学習方法や課題発見、その解決を目指した行動を身に付ける
2時間	1. 単元（題材）名 球技（バドミントン・卓球） 2. 本時の目標 記録の向上や課題解決を学び、各種目競技の技能を身に付ける
3時間	1. 単元（題材）名 ダンス 2. 本時の目標 仲間と踊ったり、ダンスの名称や用語、文化的背景などを理解する
4時間	1. 単元（題材）名 体育理論 豊かなスポーツライフの設計 2. 本時の目標 運動やスポーツの効果的な学習方法や課題発見、その解決を目指した行動を身に付ける
5時間	1. 単元（題材）名 球技（バドミントン・卓球） 2. 本時の目標 記録の向上や課題解決を学び、各種目競技の技能を身に付ける
6時間	1. 単元（題材）名 ダンス 2. 本時の目標 仲間と踊ったり、ダンスの名称や用語、文化的背景などを理解する

メディア視聴	学習内容
4時間	生涯スポーツの見方考え方・ライフスタイルに応じたスポーツ スポーツを推進する取り組み・豊かなスポーツライフの創造 バスケットボール ハンドボール ソフトテニス

評価観点	評価基準
知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする
思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う
主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全2回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は10単位以上（メディア視聴4単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者	
芸術	書道Ⅰ	単位数	2	長谷川 澄代
指導目標				
書道の幅広い活動を通して、書に対する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中での文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を育成することを目指す。				
1, 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上をはかる。				
2, 書の良さや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。				
3, 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。				
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍 書Ⅰ701
面接指導	12回設定	合格時間数8時間以上（メディア4・対面4）	副教材	なし
報告課題（レポート）	全6回	A3 6枚	考查範囲	試験なし
定期考査	なし		評定	5段階評定

前期 1～12

後期 1～12

回	メディア学習（該当ページ）	報告課題（レポート）締切期日	面接指導（スクーリング）日程
1	書の美を楽しむ(巻頭)	第1回 5/8 (木)	前期 ・学校でのスクーリング ①標6/5 ②標6/19 ③標7/3 ④標7/17 ①集7/29・8/5 ②集7/31・8/7 ③④集8/1・8/8 新村キャンパス
2	書写から書道へ(2～9P)		
3	漢字の書(10～15P)	第2回 5/22 (木)	
4	楷書(16～37P)		
5	行書(38～58P)	第3回 6/5 (木)	
6	草書(59～61P)		
7	隷書(62～65P)	第4回 6/19 (木)	
8	篆書(66～73P)		
9	仮名の書(74～103P)	第5回 7/3 (木)	
10	漢字仮名交じりの書(104～130P)		
11	篆刻・刻字(131～138P)	第6回 7/17 (木)	
12	篆刻・刻字(131～138P)		
1	書の美を楽しむ(巻頭)	第1回 10/16 (木)	後期 ・学校でのスクーリング ①標11/13 ②標11/27 ③標12/4 ④標12/18 ①集12/23・1/6 ②集12/25・1/8 ③④集12/26・1/9 新村キャンパス
2	書写から書道へ(2～9P)		
3	漢字の書(10～15P)	第2回 10/30 (木)	
4	楷書(16～37P)		
5	行書(38～58P)	第3回 11/13 (木)	
6	草書(59～61P)		
7	隷書(62～65P)	第4回 11/27 (木)	
8	篆書(66～73P)		
9	仮名の書(74～103P)	第5回 12/4 (木)	
10	漢字仮名交じりの書(104～130P)		
11	篆刻・刻字(131～138P)	第6回 12/18 (木)	
12	篆刻・刻字(131～138P)		

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元(題材)名 書写から書道へ・古典に基づく学習(楷書・行書) 2. 本時の目標 用具・用材の基本と配列を確認する。 楷書・行書の古典作品を鑑賞する。 楷書の書風の違いについて理解し、その中から1作品を選び表現する。
2時間	1. 単元(題材)名 漢字の成立と変遷・古典に基づく学習(篆書・隸書) 2. 本時の目標 漢字の成立と書体の変遷を学ぶ 篆書・隸書の古典作品を鑑賞する。 篆書・隸書の基本的な字形、構成、用筆、運筆を学び、表現する。
3時間	1. 単元(題材)名 仮名 2. 本時の目標 仮名の成立について学び、運筆方法の基本を学ぶ。
4時間	1. 単元(題材)名 生活の中の書・漢字かな交じりの書の表現 2. 本時の目標 生活の中の書(便箋、封筒、葉書)の書き方を学ぶ。

メディア視聴	学習内容
4時間	書の美を楽しむ・書写から書道へ 漢字の書・楷書 行書・草書 隸書・篆書 仮名の書・漢字仮名交じりの書 篆刻・刻字

評価観点	評価基準
知識・技能	目的や用途に応じた効果的な表現を理解している。書体や書風と用筆・運筆のかかわりを理解している 書の変遷や歴史を理解している
思考・判断・表現	作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えることができる 書の伝統や文化の意味を考え、古典の書体や書風に即した用筆等を理解している
主体的に学習に取り組む態度	各書体の良さや特徴を甘受し、作品の意味や価値について考えながら鑑賞している。 各書体、書風の特徴に基づく表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。

単位認定基準

- 1 報告課題(添削指導)は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導(スクーリング)は8単位以上(メディア視聴4単位を含む)出席すること

教科	科目		担当者	
家庭科	家庭基礎	単位数	2	原 みさを
指導目標				
生活の営みに関わる見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。				
1, 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に支え、家族・家庭の意義、華族・家庭と社会の関わりについて理解を深め、衣食住・消費や環境などについて生活を主体的に営むために必要な理解を図る。				
2, 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。				
3, 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。				
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍 家基701
面接指導	12回設定	合格時間数4時間以上(メディア2・対面2)	副教材	なし
報告課題(レポート)	全5回	A4 5枚	考査範囲	報告課題1回～5回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定
前期 1～8	後期 1～8	考査日	前期 8/21(木)	後期 1/14(水)
回	メディア学習(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程	
1	第1章 生涯を見通す(P12~21)	第1回 5/8(木)	前期	
2	第2章 人生をつくる(P22~37)		・学校でのスクーリング	
3	第3章 子どもと共に育つ(P38~63)	第2回 5/22(木)	①標7/3 ②標7/17	
4	第4章 超高齢社会を共に生きる(P64~77)		①集7/31・8/7 ②集8/1・8/8	
5	第5章 共に生き、共に支える(P78~85)	第3回 6/5(木)	新村キャンパス	
6	第6章 食生活をつくる(P86~117)			
	第6章 食生活をつくる(P118~133)	第4回 6/19(木)		
7	第7章 衣生活をつくる(P134~163)		* 栄養バランスのよいお弁当の献立を 作ってみよう。	
8	第8章 住生活をつくる(P164~183)	第5回 7/3(木)	* 着用している衣服の表示を確認しよう。	
1	第1章 生涯を見通す(P12~21)	第1回 10/16(木)	後期	
2	第2章 人生をつくる(P22~37)		・学校でのスクーリング	
3	第3章 子どもと共に育つ(P38~63)	第2回 10/30(木)	①標12/4 ②標12/18	
4	第4章 超高齢社会を共に生きる(P64~77)		①集12/25・1/8 ②集12/26・1/9	
5	第5章 共に生き、共に支える(P78~85)	第3回 11/13(木)	新村キャンパス	
6	第6章 食生活をつくる(P86~117)			
	第6章 食生活をつくる(P118~133)	第4回 11/27(木)	・内容	
7	第7章 衣生活をつくる(P134~163)		* 栄養バランスのよいお弁当の献立を 作ってみよう。	
8	第8章 住生活をつくる(P164~183)	第5回 12/4(木)	* 着用している衣服の表示を確認しよう。	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 食生活をつくる 2. 本時の目標 栄養バランスの良いお弁当の献立を考え、食生活の重要性を学ぶ
2時間	1. 単元（題材）名 衣生活をつくる 2. 本時の目標 着用している衣服の表示を確認し、自立した責任ある消費者としての視点を学ぶ

メディア視聴	学習内容
2時間	第1章「生涯を見通す」及び第2章「人生をつくる」 第3章4章「子どもと共に育つ」 第5章「共に生き、共に支える」及び第6章「食生活をつくる」 第6章「食生活をつくる」及び第7章「衣生活をつくる」 第8章「住生活をつくる」

評価観点	評価基準
知識・技能	人の一生と家族および福祉などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識を身に付け実践しようとしている
思考・判断・表現	生活の中に問題を見出して課題を設定し、解決策を構想・実践しようとしている
主体的に学習に取り組む態度	様々な人と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自らの生活の充実向上を実践しようとする態度が見られる

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全5回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は4単位以上（メディア視聴2単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目			担当者
情報科	情報Ⅰ	単位数	2	名取 淳美
指導目標 情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。				
メディア学習	あり	東京書籍インターネット講座	教科書	東京書籍 情Ⅰ701
面接指導	12回設定	合格時間数4時間以上(メディア2・対面2)	副教材	
報告課題(レポート)	全6回	A3 4枚+eラーニング	考查範囲	報告課題1回~4回
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定
前期 1~6	後期 1~6	考査日	前期 8/21(木)	後期 1/15(木)
回	メディア学習(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程と内容	
1	1章 情報で問題を解決する	第1回 5/8(木)	前期 ・学校でのスクーリング ①標6/19 ②標7/3 ①集7/31・8/7 ②集8/1・8/8 新村キャンパス	
2	2章 情報を伝える	第2回 5/22(木)		
3	3章 コンピュータを活用する	第3回 6/5(木)		
4	4章 データを活用する	第4回 6/19(木)		
5	5章 活動して提案する	第5回 7/3(木)		
6	情報の応用とまとめ	第6回 7/17(木)		
1	1章 情報で問題を解決する	第1回 10/16(木)	後期 ・学校でのスクーリング ①標11/27 ②標12/4 ①集12/25・1/8 ②集12/26・1/9 新村キャンパス	
2	2章 情報を伝える	第2回 10/30(木)		
3	3章 コンピュータを活用する	第3回 11/13(木)		
4	4章 データを活用する	第4回 11/27(木)		
5	5章 活動して提案する	第5回 12/4(木)		
6	情報の応用とまとめ	第6回 12/18(木)		

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元 情報で問題を解決する 情報モラルを把握し、デジタルでの情報伝達手段について学ぶ 2. 本時の目標 デジタルの意s組、コンピュータの演算の仕組みについて学ぶ
2時間	1. 単元 情報データの活用や応用について学ぶ コミュニケーションの変化について学ぶ 2. 本時の目標 インターネットの仕組みやデータベースの活用や応用について学ぶ

メディア視聴	学習内容
2時間	1章「情報で問題を解決する」 2章「情報を伝える」 3章「コンピュータを活用する」 4章「データを活用する」 5章「活動して提案する」 「情報の活用とまとめ」

評価観点	評価基準
知識・技能	情報と情報技術に関する基本的な知識と技能を身に付けている
思考・判断・表現	様々な事象を情報と結びつけて考察し、問題の発見・解決に向けて効果的に情報を活用する
主体的に学習に取り組む態度	情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い、望ましい情報社会を構築するために情報社会に主体的に参画しようとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は4単位以上（メディア視聴2単位を含む）出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者	
キャリア講座	ビジネス総合	単位数 2	輪湖 明	
指導目標				
基礎から実践まで幅広くビジネスの知識を身につけ、将来の進路に役立てること目的とする。				
1.ビジネスの諸活動に必要な知識、技術の取得。				
2.インターネット等での「調べ学習」と「自分自身の考え」を重視し、社会課題への問題解決への興味をもたせる。				
3.個人や企業の社会的責任や、生徒自身が社会参画へ向けて人生を歩むきっかけになってもらう。				
4.実業教育の大きな目的の一つであるビジネススキルを保証するものとして、資格取得に興味をもたせ、知識・技術の習得が、人				
メディア学習	なし		教科書	
面接指導	12回設定	合格時間数2時間以上(対面2)	副教材	
報告課題(レポート)	全6回	A3 6枚	考查範囲	報告課題1回～6回
定期考查	あり	100点法	評定	5段階評定
前期 1～6	後期 1～6	考查日	前期 8/21(木)	後期 1/15(木)
回	学習(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程	
1	ビジネスに必要な基礎知識(P3～)	第1回 5/8(木)	前期 ・学校でのスクーリング ①標7/3 ②標7/17 ①集7/31・8/7 ②集8/1・8/8 新村キャンパス	
2	流通とマーケティング(P20～)	第2回 5/22(木)		
3	簿記の仕組み(P30～)	第3回 6/5(木)		
4	ビジネスコミュニケーション(P80～)	第4回 6/19(木)		
5	ITとビジネス(P90～)	第5回 7/3(木)		
6	企業モラルと社会的責任(P100～)	第6回 7/17(木)		
1	ビジネスに必要な基礎知識(P3～)	第1回 10/16(木)	後期 ・学校でのスクーリング ①標12/4 ②標12/18 ①集12/25・1/8 ②集12/26・1/9 新村キャンパス	
2	流通とマーケティング①(P20～)	第2回 10/30(木)		
3	簿記の仕組み(P30～)	第3回 11/13(木)		
4	ビジネスコミュニケーション(P80～)	第4回 11/27(木)		
5	ITとビジネス(P90～)	第5回 12/4(木)		
6	企業モラルと社会的責任(P100～)	第6回 12/18(木)		

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 簿記の仕組み 2. 本時の目標 簿記の基本、や記帳などの知識や技術を習得する
2時間	1. 単元（題材）名 ビジネスコミュニケーション 2. 本時の目標 良好な人間関係を維持するために必要なビジネスマナーについて学ぶ

評価観点	評価基準
知識・技能	ビジネスに必要な専門用語の理解や記帳などの技術の習得
思考・判断・表現	商取引やビジネスの諸活動を理解し、適切な経営判断をおこなうための思考を学べているか
主体的に学習に取り組む態度	積極的、主体的に課題に取り組み、工夫をもってすすめているか

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は2単位以上出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者
キャリア講座	スポーツ総論	単位数 2	永井 真弓
指導目標			
<p>社交場でのコミュニケーションとして、スポーツを取り入れることが多くあるため、スポーツを通じて他者との関わり方、規則の厳守、マナーなど、様々な社会性を身につける。</p> <p>ニュースポーツを通じて、新たな発見や規則の理解、他者との協力など、自らの学びを高める。また世界規模のスポーツ大会競技を自ら実施することで興味関心の広がるに繋げる</p>			
メディア学習	なし		教科書
面接指導	24回設定	合格時間数4時間以上(対面4)	副教材
報告課題(レポート)	全6回	A3 6枚	考查範囲
定期考查	あり	100点法	評価
前期 1~4	後期 1~4	考查日	前期 8/21(木) 後期 1/15(木)
回	学習(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程と内容
1	スポーツコミュニケーション (ゴルフ)	第1回 5/8(木)	前期 ・学校でのスクーリング ①標5/22 ②③標6/19 ④標7/3 ①集7/29・8/5 ②集7/30・8/6 ③集7/31・8/7 ④集8/1・8/8 新村キャンパス
2	スポーツコミュニケーション (ダーツ)	第2回 5/22(木)	
3	ニュースポーツ (モルック)		
4	ニュースポーツ (ポッチャ)		
1	スポーツコミュニケーション (パターゴルフ)	第1回 10/16(木)	後期 ・学校でのスクーリング ①標10/30 ②③標11/27 ④標12/4 ①集12/23・1/6 ②集12/24・1/7 ③集12/25・1/8 ④集12/26・1/9 新村キャンパス
2	スポーツコミュニケーション (ダーツ)	第2回 10/30(木)	
3	ニュースポーツ (モルック)		
4	ニュースポーツ (ポッチャ)		

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 スポーツコミュニケーション ゴルフ・パターゴルフ 2. 本時の目標 スポーツを通して社会性を身に付ける
2時間	1. 単元（題材）名 スポーツコミュニケーション ダーツ 2. 本時の目標 スポーツを通して社会性を身に付ける
3時間	1. 単元（題材）名 ニュースポーツ モルック 2. 本時の目標 規則や新たな感性を高める
4時間	1. 単元（題材）名 ニュースポーツ ボッチャ 2. 本時の目標 規則や新たな感性を高める

評価観点	評価基準
知識・技能	スポーツの歴史・文化的特性・スポーツとの関わり方について理解している
思考・判断・表現	自己や仲間の課題に応じて運動を継続するための工夫ができている
主体的に学習に 取り組む態度	スポーツを楽しむと同時に、協力しながらフェアな行動をしようとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全2回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は4単位以上出席すること
- 3 定期考査で所定以上の得点を修めること

教科	科目		担当者	
キャリア講座	文書表現	単位数 2	丸山 洋史	
指導目標				
<p>自らを把握し、他者に向けて表現する能力を高めることは、キャリア形成にとって極めて重要である。自らの問題意識と能力、そしてキャリアを志望校・志望企業に伝えると同時に、自らの意欲と成長を的確に表現できる力を養う。また、文書のみならず、口頭での表現力向上も企図する。</p> <p>1, 履歴書・志望理由書作成に必要な文章表現能力を修得する。</p> <p>2, 論理的に考える力と、的確に表現する力を身に付ける。また、他者に的確に自分の能力を伝え、相互に理解する力を身に付ける</p>				
メディア学習	なし		教科書	なし
面接指導	12回設定	合格時間数2時間以上(対面2)	副教材	プリント教材
報告課題(レポート)	全6回	A3 6枚	考查範囲	試験なし
定期考査	あり	100点法	評定	5段階評定

前期 1~6	後期 1~6		
回	学習(該当ページ)	報告課題(レポート)締切期日	面接指導(スクーリング)日程と内容
1	国語力アップ①と読解力を高めよう P.2~P.7	第1回 5/8(木)	前期 ・学校でのスクーリング ①標6/19 ②標7/3 ①集7/30・8/6 ②集7/31・8/7 ・内容 演習課題を通して着実に表現力の向上をはかる。グループワークによって相互に表現力を高める
2	国語力アップ②と文章表現の原則を修得	第2回 5/22(木)	
3	国語力アップ③とパラグラフ・ライティングと要約 P.14~P.20	第3回 6/5(木)	
4	国語力アップ④とクリティカル・シンキング入門 P.21~P.24	第4回 6/19(木)	
5	国語力アップ⑤と小論文の基礎知識:構想を練ろう P.25~P.29	第5回 7/3(木)	
6	国語力アップ⑥と自己推薦書作成演習 P.31~P.35	第6回 7/17(木)	
1	国語力アップ①と読解力を高めよう P.2~P.7	第1回 10/16(木)	後期 ・学校でのスクーリング ①標11/27 ②標12/4 ①集12/24・1/7 ②集12/25・1/8 ・内容 演習課題を通して着実に表現力の向上をはかる。グループワークによって相互に表現力を高める
2	国語力アップ②と文章表現の原則を修得	第2回 10/30(木)	
3	国語力アップ③とパラグラフ・ライティングと要約 P.14~P.20	第3回 11/13(木)	
4	国語力アップ④とクリティカル・シンキング入門 P.21~P.24	第4回 11/27(木)	
5	国語力アップ⑤と小論文の基礎知識:構想を練ろう P.25~P.29	第5回 12/4(木)	
6	国語力アップ⑥と自己推薦書作成演習 P.31~P.35	第6回 12/18(木)	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 パラグラフ・ライティングと要約 2. 本時の目標 パラグラフ・ライティングを学び、的確な要約能力を修得しうる
2時間	1. 単元（題材）名 自己推薦書作成演習 2. 本時の目標 的確な自己分析をもとに、自己推薦書を作成する

評価観点	評価基準
知識・技能	語彙を増やし、的確に表現できる力を身に付けている
思考・判断・表現	文書表現の原則を活用し、他者にわかりやすく効果的に情報を伝える能力を獲得している。
主体的に学習に取り組む態度	積極的に自らの考えをまとめ、他者に示そうとしている。

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全6回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は2単位以上出席すること

教科	科目		担当者	
総合探究	1総合的な探究（履修モデル1年次）	単位数 1	丸山 洋史	
指導目標				
探究の見方・考え方を働かせ、総合的・横断的な学習を通して、自己のあり方・生き方を考えながらより良く課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
1, 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、探究の意義や価値を理解するようにする。				
2, 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ。表現することができるようにする。				
3, 探究に主体的、協働的に取り組むとともに、互いの良さを活かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会の実現に向けた態度を養う。				
メディア学習	なし		教科書	なし
面接指導	12回設定	合格時間数2時間以上（対面2）	副教材	
報告課題（レポート）	全2回	A3 2枚	考查範囲	試験なし
定期考査	なし		評定	なし 合否判定
前期 1～2	後期 1～2	考査日		
回	学習（該当ページ）	報告課題（レポート）締切期日	面接指導（スクーリング）日程	
1	身の回りにある商品を探究する（P.7～）	第1回 5/8（木）	前期 ・学校でのスクーリング ①②標7/17 ①集7/30・8/6 ②集7/31・8/7 新村キャンパス	
2	昔話を探究する 地域の昔話（P.13～）	第2回 5/22（木）		
1	身の回りにある商品を探究する（P.7～）	第1回 10/16（木）	後期 ・学校でのスクーリング ①②標12/18 ①集12/24・1/7 ②集12/25・1/8 新村キャンパス	
2	昔話を探究する 地域の昔話（P.13～）	第2回 10/30（木）		

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 身の回りにある商品を探る チョコレートのパッケージから 2. 本時の目標 SDGs に対する探究を身近なチョコレートを題材に行う
2時間	1. 単元（題材）名 昔話を探る 地域の昔話からはじまる探究 2. 本時の目標 地域に伝わる昔話を用いて、地域探究と史的な視点をもった思考を深める

評価観点	評価基準
知識・技能	探究のプロセスを理解し、的確な知識を得る方法を理解する
思考・判断・表現	複雑な問題の中から、適切に課題を設定できる
主体的に学習に取り組む態度	仮説を立て、自ら真摯に探究しようと様々な情報を獲得し、主体的に思考している

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全2回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は2単位以上出席すること

教科	科目		担当者
総合探究	2総合的な探究（履修モデル2年次）	単位数 1	吉江 秀文
指導目標			
探究の見方・考え方を働かせ、総合的・横断的な学習を通して、自己のあり方・生き方を考えながらより良く課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
1, 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、探究の意義や価値を理解するようにする。			
2, 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ。表現することができるようにする。			
3, 探究に主体的、協働的に取り組むとともに、互いの良さを活かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会の実現に向けた態度を養う。			
メディア学習	なし		教科書 なし
面接指導	12回設定	合格時間数2時間以上（対面2）	副教材
報告課題（レポート）	全2回	A3 2枚	考查範囲 試験なし
定期考査	なし		評価 なし 合否判定
前期 1～2	後期 1～2	考査日	
回	学習（該当ページ）	報告課題（レポート）締切期日	面接指導（スクーリング）日程と内容
1	身近にあふれるプラスチックを探究する（P.13～）	第1回 5/8（木）	前期 ・学校でのスクーリング ①標5/8 ②標6/19 ①集7/31・8/7 ②集8/1・8/8 新村キャンパス
2	進路探究に向けて（P.17～）	第2回 5/22（木）	
1	身近にあふれるプラスチックを探究する（P.13～）	第1回 10/16（木）	後期 ・学校でのスクーリング ①標10/16 ②標11/27 ①集12/25・1/8 ②集12/26・1/9 新村キャンパス
2	進路探究に向けて（P.17～）	第2回 10/30（木）	

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 身近にあふれるプラスチックを探究する 2. 本時の目標 SDG s に対する探究をマイクロプラスチックを題材に行う
2時間	1. 単元（題材）名 進路探究に向けて 自己理解と進路探究 2. 本時の目標 進路探究の端緒として、自己理解を深める

評価観点	評価基準
知識・技能	探究の手法を活用し、社会課題に対して適切な見方で解決への方策をさぐることができる
思考・判断・表現	複雑な問題の中から、適切に課題を設定できる 自己理解を深め、自らの適性を理解している
主体的に学習に取り組む態度	探究活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重しようとしている。 自己の良さを自ら認識し、社会の中で活躍する意志をもっている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全2回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は2単位以上出席すること

教科	科目		担当者	
総合探究	3総合的な探究（履修モデル3年次）	単位数 1	横内 克彦	
指導目標				
探究の見方・考え方を働かせ、総合的・横断的な学習を通して、自己のあり方・生き方を考えながらより良く課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
1, 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、探究の意義や価値を理解するようにする。				
2, 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ。表現することができるようにする。				
3, 探究に主体的、協働的に取り組むとともに、互いの良さを活かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会の実現に向けた態度を養う。				
メディア学習	なし		教科書	なし
面接指導	12回設定	合格時間数2時間以上（対面2）	副教材	
報告課題（レポート）	全2回	A3 2枚	考查範囲	試験なし
定期考査	なし		評定	なし 合否判定
前期 1～2	後期 1～2	考査日		
回	学習（該当ページ）	報告課題（レポート）締切期日	面接指導（スクーリング）日程と内容	
1	職業と私を探究する（P.20～）	第1回 5/8（木）	前期 ・学校でのスクーリング ①標5/8 ②標6/5 ①集7/29・8/5 ②集7/31・8/7 新村キャンパス	
2	社会と私を探究する（P.26～）	第2回 5/22（木）		
1	職業と私を探究する（P.20～）	第1回 10/16（木）	後期 ・学校でのスクーリング ①標10/16 ②標11/13 ①集12/23・1/6 ②12/25・1/8 新村キャンパス	
2	社会と私を探究する（P.26～）	第2回 10/30（木）		

面接指導	学習内容
1時間	1. 単元（題材）名 職業と私を探究する 2. 本時の目標 職業探究を通して、自分自身の適性に対する理解を深める
2時間	1. 単元（題材）名 社会と私を探究する 2. 本時の目標 自己の適性と社会との接点を探究する

評価観点	評価基準
知識・技能	探究の手法を活用し、論理的に文章化して表現する力を身に付けている
思考・判断・表現	意図に応じて論理的に表現する力を身に付けている 社会課題に対して幅広い視野で理解することができる
主体的に学習に取り組む態度	探究活動を通して、自己の在り方生き方を考えながら、社会の一員としての自覚をもち、より良い社会を構築しようとしている

単位認定基準

- 1 報告課題（添削指導）は全2回を締め切りまでに提出し、合格すること
- 2 面接指導（スクーリング）は2単位以上出席すること

特別活動

1, ショートホームルーム(SHR)

・面接日にSHRがあります。SHRは連絡事項伝達の間であると同時に、友人形成の間でもあります。

2, 学校行事

・健全な発達をはかり、よりよい学校生活を送るために学校行事があります。積極的に参加しましょう。

学期	月 日	イベント名	時間数	備考
通年		SHR	3回で1時間	
通年		メタバース活用イベント	8	VTuber モデリング
前期	4月4日(金)	前期入学式	2	
	4月8日(火)	履修オリエンテーション	1	
	4月18日(金)	開校記念式典	1	
	5月15日(木)	キャリアガイダンス	1	
	5月24日(土)	交流ハイキング	1	
	5月31日(土)	本校学習会	1	
	6月12日(木)	松本大学教育学部演習	1	
	6月21日(土)	松本を知る城下町FW	1	考房「ゆめ」
	6月26日(木)	松本大学教育学部演習	1	
	6月28日(土)	本校学習会	1	
	7月10日(木)	松本大学教育学部演習	1	
	7月19日(土)	本校学習会	1	
	9月16日(火)	履修オリエンテーション	1	
後期	10月2日(木)	災害食づくり体験	1	
	10月11日(土)	安曇野廃線敷を散策	1	考房「ゆめ」
	10月18日(土)	梓森祭	1	大学祭
	10月23日(木)	松本大学教育学部演習	1	
	11月6日(木)	松本大学教育学部演習	1	
	11月8日(土)	本校学習会	1	
	11月20日(木)	新村キャンパス避難訓練	1	
	11月22・23日	上土映画フェス	2	考房「ゆめ」
	11月29日(土)	本校学習会	1	
	12月20日(土)	本校学習会	1	
	3月6日(金)	後期卒業式	2	卒業生
	3月10日(火)	履修オリエンテーション	1	

3. 出席確認・その他

- ・出席確認は、面接指導と同様に「出席確認票」に必要事項を記入し、先生に提出します。
- ・行事の中には、事前の申し込みが必要なもの、別途料金が必要になるものがあります。事前にお知らせします。
- ・特別活動には、オンライン（メタバースを利用します）で行われるものがあります。その際には、出席確認を「メディア視聴報告書」の提出をもって行います（提出がない場合は参加として認められません）。

【発行】

学校法人松商学園 松商学園高等学校

本校校舎 〒390-8515 長野県松本市県3-6-1 電話：0263-33-1210

新村キャンパス 〒390-1295 長野県松本市新村 2095-1 電話：0263-48-7285

メール：online@matsusho-h.ed.jp

ホームページ：www.matsusho-h.ed.jp/online-course/